

まちだの子ども施策

2013（平成25）年度

町田市子ども生活部

「まちだの子ども施策 2013年度」について

- 本書は、町田市の子どもの状況や子ども施策の概要をまとめたものです。
- 本書は、「町田市子どもマスタープラン」（2005年度からの10年計画）の進捗状況を報告するものです。
- 本書は、「次世代育成支援対策推進法」に基づく「町田市次世代育成支援対策推進行動計画」の措置の実施状況を報告するものです。
- 子ども施策に基づく事業は、主に2013年度実施されたものを掲載しています。
- 保育所の入所者数等のデータは、主に2014年4月1日現在のものを掲載しています。

目 次

1. 2013年度 子ども生活部長の仕事目標	1
(1) 部の使命	1
(2) 部の成果指標	1
(3) 部の現状	1
(4) 部の経営課題【中・長期目標】	2
2. 町田市の概要	3
(1) 町田市の位置	3
(2) 町田市の人口	4
(3) 町田市の子どもの人口と出生数	6
(4) 就学前児童の状況	8
3. 町田市の子ども施策の体系	9
(1) 町田市子どもマスタープラン	9
(2) 子どもマスタープランの基本理念・基本的視点・基本目標	10
(3) 町田市子どもマスタープランの施策体系	12
4. 子どもマスタープランに基づく各施策の取り組み	13
・基本目標Ⅰ 子どもが健やかに育ち、一人ひとり自分の中に光るものを持っている	14
・重点目標1 子どもの遊びや体験が大切にされ、主体的に参加し意見表明できる	14
・個別目標1 コミュニケーション能力を育てる	14
・個別目標2 参加と意見表明の場や機会をつくる	15
・個別目標3 救済とやり直しの場や機会を保障する	18
・重点目標2 大人になっていく力をつける（市民性の形成を育む）	18
・個別目標1 乳幼児期の養護を充実させる	18
・個別目標2 幼児教育を充実させる	18
・個別目標3 学校教育を充実させる	19
・個別目標4 思春期の子どもの心と身体健康教育を充実する	21
・個別目標5 体験活動から学ぶようにする（文化・スポーツ活動等）	22
・基本目標Ⅱ 子どもが安らいでいる家族があり、家族が地域とつながっている	29
・重点目標1 親になる力を身につける	29
・個別目標1 親スタート期を支える	29
・個別目標2 子育て期を支える	30
・個別目標3 男女共同の子育てを進める	34
・個別目標4 親の悩みを支える	34
・重点目標2 親が働くことを支える	35
・個別目標1 保育支援	36
・個別目標2 サービスの質の向上と効果的・効率的な提供の充実	39
・重点目標3 きめ細やかな支援が必要な家族を支える	40

・個別目標 1	障がいのある子どもと家族への支援	40
・個別目標 2	ひとり親家庭への支援	42
・個別目標 3	外国籍家族への支援	42
・個別目標 4	被虐待児（DV 家族児童を含む）と家族への支援	43
・基本目標Ⅲ	子どもが地域の中で大切にされている	44
・重点目標 1	人と人が関わりつなげる場をつくる（家庭・施設・学校・地域・行政の協働）	44
・個別目標 1	地域の人材育成と人材活用	44
・個別目標 2	地元事業所・商店の関わり	44
・個別目標 3	体験できる場（多様な体験ができる機会を増やす）	45
・個別目標 4	交流できる場（子どもや子育てをしている人がられあい情報交換できる場を増やす）	48
・個別目標 5	子どもセンター・地域子育てセンターを中心とした地域づくり	49
・重点目標 2	一人ひとりに情報が確実に届く	50
・個別目標 1	子どもと親への情報を確保する	50
・重点目標 3	みんなで安全・安心のまちをつくる	51
・個別目標 1	子どもの安全・安心を確保する	51
・個別目標 2	子育てしやすいまちづくりをする	52
5.	特定 12 事業における実績と目標事業量	53
6.	町田市の組織	64

巻末資料

- (1) 認可保育所／幼稚園／認定こども園／認証保育所／家庭的保育者 位置図
- (2) 学童保育クラブ／子どもセンター／子どもクラブ 位置図

1. 2013年度 子ども生活部長の仕事目標

（1）部の使命

- 子育て家庭が、「安心して楽しく子育てができるように」、「仕事と子育ての両立ができるように」、子育て家庭のさまざまなニーズにきめ細かく対応する取り組みを進めます。また、青少年施設等の子ども関連施設や各種事業を活かし、子どもたちの「成長・発達」及び「あそび」を推進します。

（2）部の成果指標

- 保育サービス提供率
- 子育て相談・支援の充実度
- 子ども関連施設の利用人数

（3）部の現状

【顧客の視点】

- 「20年間期間限定認可保育所」事業等により保育定数の拡大を図っています。2013年4月の待機児童数は264人で、2012年より29人減少しました。
- 学童保育クラブの管理・運営に指定管理制度を導入し、サービスの向上と経費の削減等を行っています。2013年4月の入会児童数は3,046人です。
- 発達支援を必要とする乳幼児の相談が増加していることから、すみれ教室の機能充実を行う必要があります。

【資源の視点】

- 保育所・学童保育クラブ等の運営に年間約90億円の経費を要し、中・長期的に見て膨大な財政負担が見込まれます。
- 地域で子育て支援や健全育成の活動を行っている組織が、子ども施策の推進におけるパートナーとなっています。
- 青少年施設や子どもセンター等を有し、子ども・青少年が多様な体験や学習ができる取り組みを推進しています。
- 業務量の増加に伴い、時間外勤務が恒常的に行われていることから、業務の進め方を見直す必要があります。

【比較の視点】

- 保育所の待機児童解消のため、「20年間期間限定認可保育所」の整備手法により定員増を実現しています。
- 0～2歳児対象の家庭的保育者を積極的に活用し、保育サービスの量的拡充を図っています。

- さまざまな背景を抱えた子どもの状況に応じるため、認定こども園（幼稚園型・幼保連携型）の整備支援により保育・幼児教育の質的向上を図っています。
- 学童保育クラブは、入会要件（一斉入会期間）を満たす全ての児童を受け入れています。

【環境変化の視点】

- 子ども・子育てに関する新法の施行を控え、新制度への対応準備が必要です。
- 共働き家庭の増加により保育所や学童保育クラブなどの保育需要は、引き続き高くなっています。
- 家族形態の変化に伴う子育て家庭のニーズが多様化しています。
- 子育てに不安や負担を感じる子育て家庭は少なくありません。
- 子育てにかかる経済的負担感が強くなっています。
- 家庭環境、地域コミュニティの弱体化、多様な体験の機会の減少により、子ども・青少年の心身の健やかな成長に影響が生じています。

（４）部の経営課題【中・長期目標】

	部の経営課題	指標	現状値	目標値	達成時期
1	保育所待機児童解消と多様な保育ニーズへの対応	保育サービス提供率	28.4%	34.5%	2015年4月
2	地域における子育て相談の充実と乳幼児の発達支援	子育て相談・支援の充実度	70%	100%	2014年4月
3	子どもの活動拠点及び身近な居場所の整備	計画の進捗状況	40%	100%	2015年度
4	組織の機能強化と事務の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ■組織の再編 ■部内職員の平均稼働時間 	2100時間/年	<ul style="list-style-type: none"> ■組織体制の強化 ■2000時間/年 	2014年3月

（注）「部長の仕事目標」は、2006年度よりスタートした制度です。町田市公式ホームページの「トップページ」→「市の取り組み」→「部長の仕事目標」からもご覧いただくことができます。

<http://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/buchomani/setsume.html>

2. 町田市の概要

	内 容
市 制 施 行	1958年2月1日東京都で9番目に市制施行。
位 置 ・ 地 勢	東京都の南端にあって、半島のように神奈川県に突き出ています。市のほぼ全域が多摩丘陵に含まれ、市域の平面形は丘陵の西南線に沿う狭長な形態になっています。地質は、主として表面5m～15mの関東ローム層におおわれています。
広 ぼ う	東西 22.3 km 南北 13.2 km
海 抜	最高 364 m 最低 27 m
面 積	71.64 km ²
世 帯 数	186,820 世帯 (2014年1月1日現在)
人 口	426,222 人 (2014年1月1日現在)
人 口 密 度	5,949 人 / km ² (2014年1月1日現在)

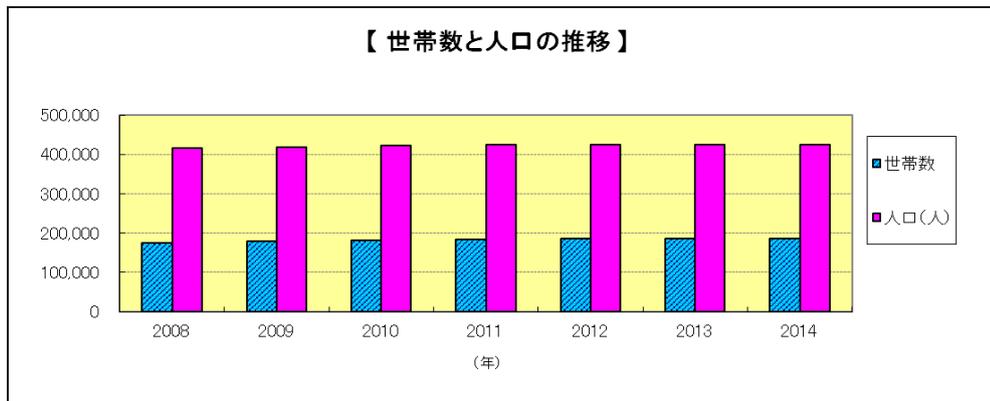
*世帯数・人口・人口密度には外国人を含みます。

(1) 町田市の位置



(2) 町田市の人口

人口と世帯数の推移（各年1月1日現在 外国人を含む）（単位：人）

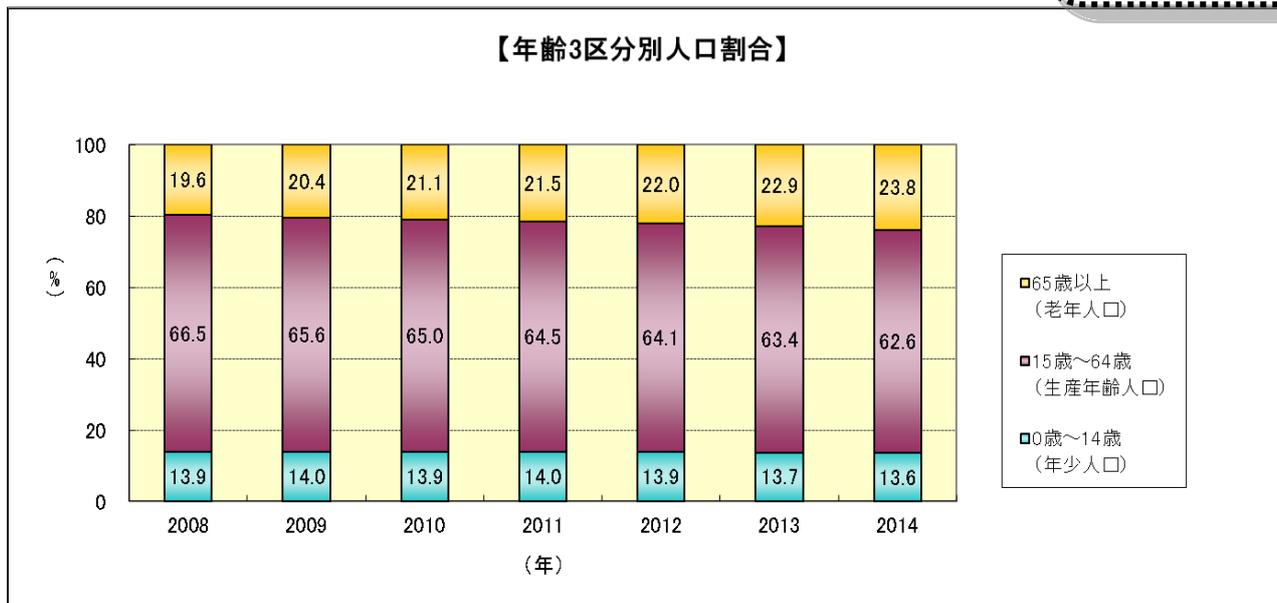


資料：町田市の世帯と人口

町田市の人口は、市制施行以来増加しています。1958（昭和33）年の市制施行時の人口は、約6万1千人でしたが、2012年には42万5千人を超え、市制施行時の約7倍になっています。

区分 年度	世帯数	人 口		
		総数	男	女
2008	176,197	416,693	205,896	210,797
2009	179,290	419,816	207,434	212,382
2010	181,847	422,700	208,737	213,963
2011	183,836	424,828	209,509	215,319
2012	185,258	425,380	209,547	215,833
2013	185,300	425,762	209,693	216,069
2014	186,820	426,222	209,757	216,465

町田市の年齢3区分別人口割合では、65歳以上の高齢者の占める割合が年々増加しています。一方で、15歳～64歳の生産年齢人口は減少傾向にあります。



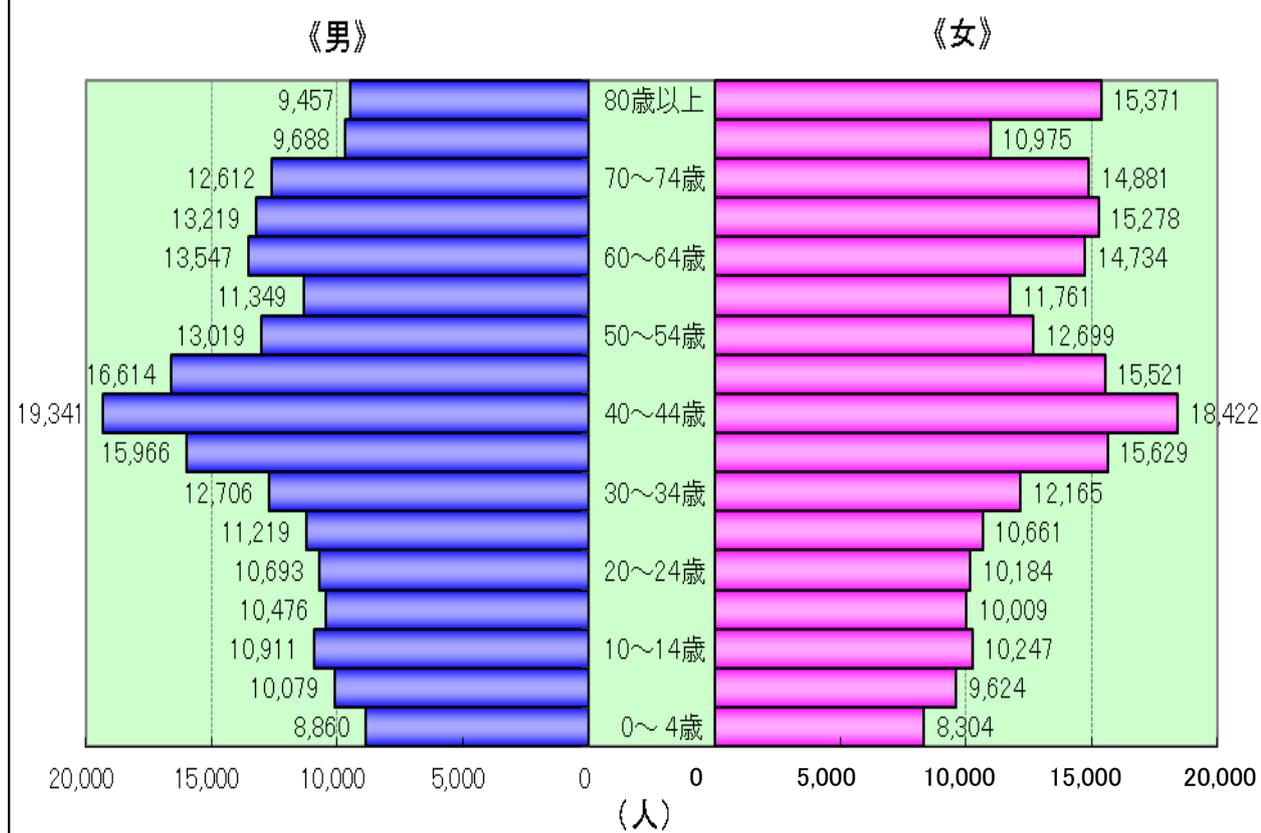
資料：町田市の世帯と人口

【年齢階級別人口】(2014年1月1日現在)

(単位：人)

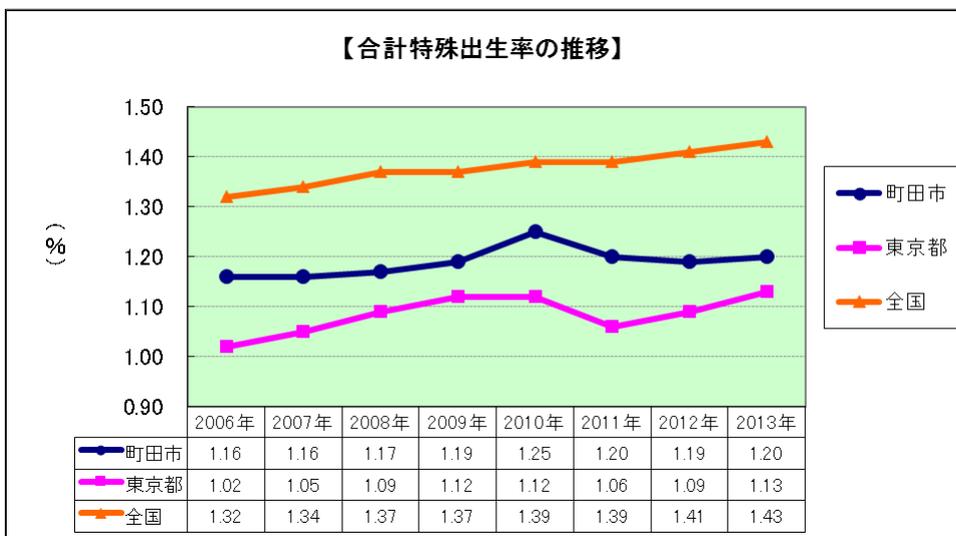
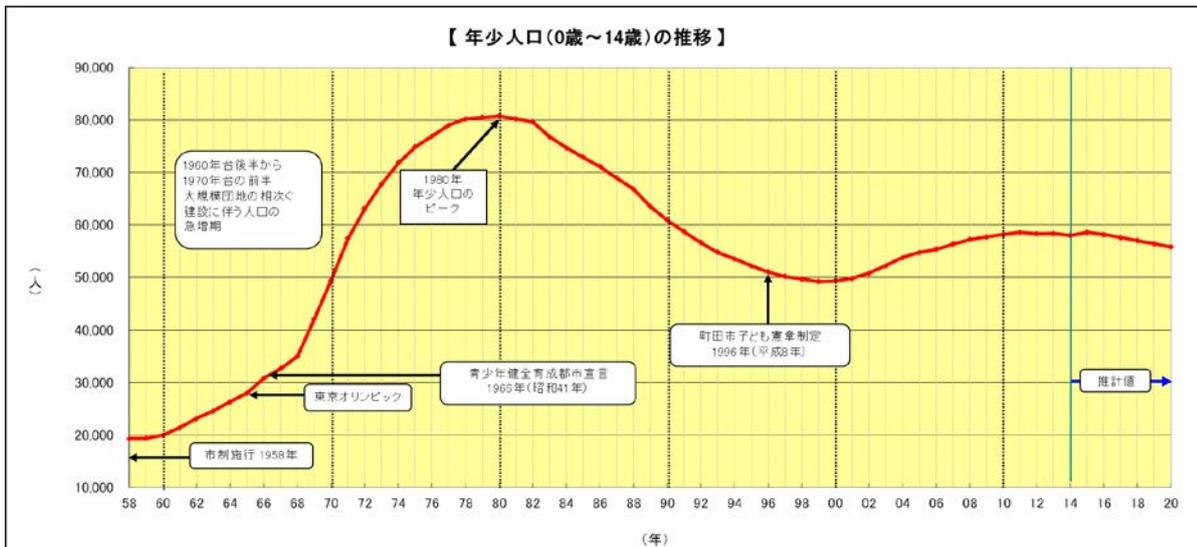
年齢	人口総数	男	女	年齢	人口総数	男	女
0～4歳	17,164	8,860	8,304	45～49歳	32,135	16,614	15,521
5～9歳	19,703	10,079	9,624	50～54歳	25,718	13,019	12,699
10～14歳	21,158	10,911	10,247	55～59歳	23,110	11,349	11,761
15～19歳	20,485	10,476	10,009	60～64歳	28,281	13,547	14,734
20～24歳	20,877	10,693	10,184	65～69歳	28,497	13,219	15,278
25～29歳	21,880	11,219	10,661	70～74歳	27,493	12,612	14,881
30～34歳	24,871	12,706	12,165	75～79歳	20,663	9,688	10,975
35～39歳	31,595	15,966	15,629	80歳以上	24,828	9,457	15,371
40～44歳	37,763	19,341	18,422	総数	426,222	209,757	216,465

【年齢階級別人口グラフ】



資料：町田市の世帯と人口

(3) 町田市の子どもの人口と出生数



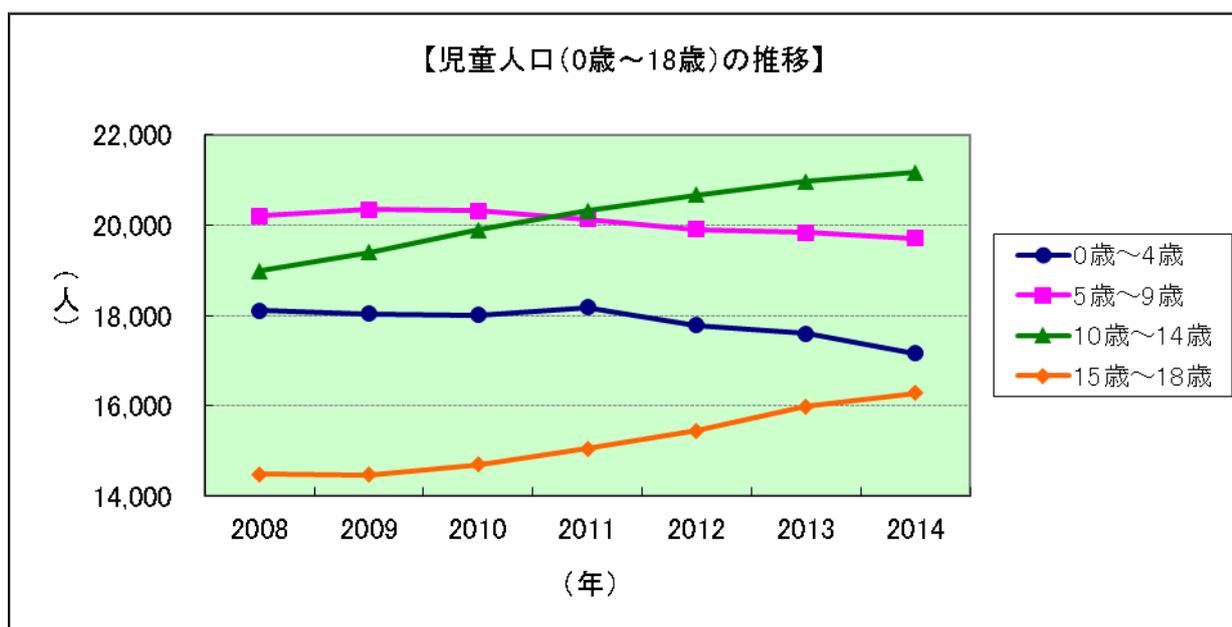
合計特殊出生率
 15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、一人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子ども数に相当する。

資料：東京都人口動態統計

【 児童人口（0歳～18歳）の推移 】（各年1月1日現在）

（単位：人）

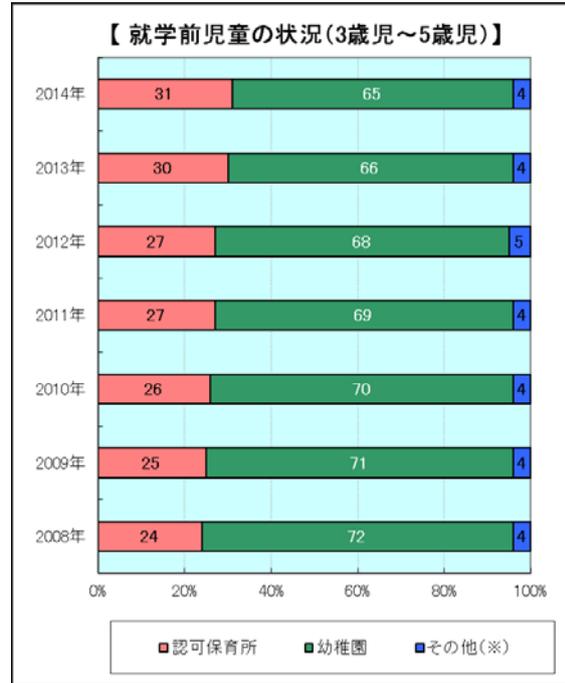
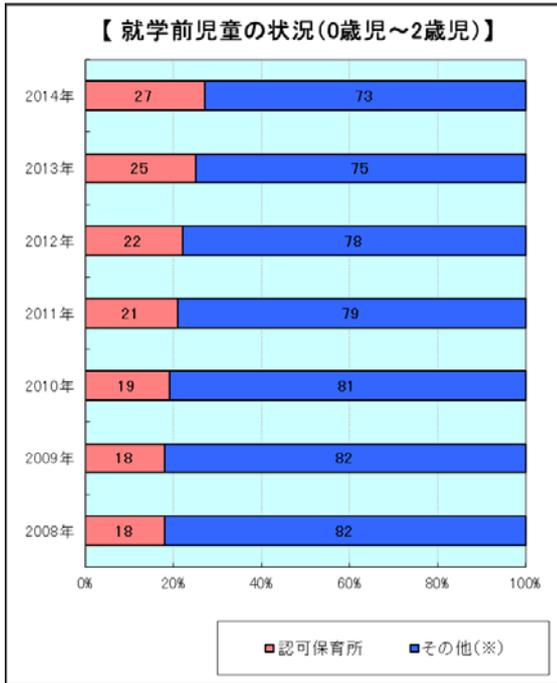
	0歳～4歳	5歳～9歳	10歳～14歳	15歳～18歳	合計
2008	18,103	20,195	18,979	14,493	71,770
2009	18,031	20,340	19,394	14,473	72,238
2010	18,014	20,309	19,890	14,693	72,906
2011	18,182	20,131	20,316	15,055	73,684
2012	17,786	19,902	20,666	15,450	73,804
2013	17,597	19,829	20,971	15,992	74,389
2014	17,164	19,703	21,158	16,283	74,308



児童人口（0歳～18歳）は、全体で見ると微増状態が続いていましたが、2014年度には減少へと転じました。特に0～4歳の児童人口は減少傾向にあります。また、5～9歳の児童人口もわずかに減少しています。一方で10歳～14歳と15歳～18歳の児童人口は、わずかながら増加しています。

(4) 就学前児童の状況

(単位：%)



資料：子ども生活部子育て支援課

※「その他」には、家庭で養育を受けている児童、認可保育所以外の保育サービス（家庭的保育者、認証保育所、認定こども園【認可外保育部分】）を受けている児童、無認可保育所へ通っている児童が含まれます。

0歳～2歳では、約25%の児童が、保育所で保育を受けています。3歳～5歳児になると、全体の約66%の児童が幼稚園に通園しています。なお、就労を希望する保護者が多いため、保育所で保育を受ける児童の数は年々増加傾向にあります。



保育所 各年4月1日現在 / 幼稚園 各年5月1日現在

3. 町田市の子ども施策の体系

（1）町田市子どもマスタープラン

①策定の経過

子どもを取り巻く社会状況の変化に伴い、子どもと子育て家庭への支援に対する市民のニーズが変化しており、従来の「福祉」や「教育」といった枠を超えた体制での施策推進が必要となっています。こうした状況を受け、子ども行政一元化を実施するとともに、町田市としての子ども施策の基本的な方向性を示すために「子どもマスタープラン」を策定しました。

- ・2003年11月 学識経験者、関連機関代表、公募市民等で構成される町田市子どもマスタープラン審議会に「マスタープランのあり方」を諮問。
- ・2004年8月 「子どもマスタープラン公聴会」を開催。45名の市民が参加。
- ・2004年10月 審議会が「子どもマスタープラン（案）」を市長に答申。
- ・2004年12月 子どもマスタープランを策定・公表。

●審議会の開催状況

- ・審議会（5回）
- ・専門部会（第1、第2、第3）延べ24回（各8回）
- ・プランの当事者である子どもの意見を反映させるために設けられた「子ども委員会（公募の中高生で構成）」（10回）

●プラン作成の基礎資料とするための調査

- ・子どもマスタープラン基礎調査
- ・次世代育成支援計画調査
- ・ひとり親家庭の子育てアンケート
- ・国際結婚家庭の子育てアンケート

- 2003年7月に施行された次世代育成支援対策推進法（平成15年法律第120号）第8条第1項の規定に基づき、市町村行動計画策定が義務づけられたことを受け、「町田市次世代育成対策推進行動計画」を子どもマスタープランに含め策定しました。

②子どもマスタープランの推進

子どもマスタープランは、次のように推進します。

- ・計画期間は、2005年度から10年間です。5年毎に必要な見直しを行います。
- ・子ども生活部が中心となり、関連する各課がプランに基づき推進します。
- ・子どもマスタープランに基づく推進計画の策定、推進状況の検証、総合調整は、副市長を長とする庁内組織「子どもマスタープラン推進委員会（庁内の関連する部長・課長で構成）」が担います。
- ・特に検討が必要な事項については、関連する課の職員で構成する作業部会を設置し、検討します。
- ・進捗状況について、本書「まちだの子ども施策」で毎年公表します。

（２）子どもマスタープランの基本理念・基本的視点・基本目標

（「町田市子どもマスタープラン」より抜粋）

基本理念

子どもが自分らしく安心して
暮らせるまちをみんなで創り出す

すべての子どもの心身ともに安全で健やかな成長を実現することは、現代社会の重要な課題です。人間としての基礎的な資質が作られるこの時期、大人と子どもの関わりのあり方は、子どもの生涯の充実した人生に大きく影響します。

また、子どもは現在の市民であるとともに、将来の市民社会の中核となる存在です。子どもを健やかに育み、豊かな市民性を培うことは、子どもの生涯を充実させるとともに、将来の市民社会の安定と発展のためにも必要なことです。

大人中心の暮らしや社会の価値を子どもの視点からも問い直し、子どもを支えていく社会をみんなで創り出します。

基本的な視点

（１）一人ひとりの子どもの権利実現の視点

子どもは一人の市民です。子どもも大人の市民と同様に、自分の意見を表明することができ、決定に参画する権利があります。子ども自らが考え行動し、他者と関わりながら成長できる環境を整えていくことが求められています。

また、子どもへの権利侵害が起きた場合の救済や、やり直しの機会が保障されるように、大人や社会が受け止めていくことも大切です。

大人も子どもも相互理解を深めながら、市民として現在と未来を一緒に創っていくという視点が必要です。

（２）子どもと親がともに成長する視点

子どもとの関わりを自らの子育てで初めて体験する親が多くなっています。

これまで、親としての自覚や知識・技術を持っていることを前提に支援が組み立ててきましたが、現代の子育てには子どもが成長する時、親も新たな体験を積み重ね、共に成長していく視点が必要です。

子育てスタート期を大切にし、その場のみの助け合いや連携に止まらず、地域での子育て仲間の形成や地域で支え合える土壌づくりを行い、子どもも親も地域の人々も共に、成長し合うことが必要です。

（3）地域の中で家族を孤立させない視点

子育ての主体は家族にあります。けれども、家族の中で解決できない時や行き詰まった時に、さりげなく相談に乗ってもらったりすることがとても大きな力になるものです。一方では、子育て観・生活観などの多様化により、子育て家族と地域との結びつきに難しさを感じる市民も多くなっています。

多様な地域社会と家族との関わり方に視点を当てた地域活動が柔軟に展開されて、子育ての支え合いのできる地域社会を創ることが必要です。

（4）市民（子どもと大人）と行政の協働を進める視点

子どもに関わることは、子どもと大人が協働して取り組んでいくことが必要です。また、市民と行政は、行政がやるべきことと市民ができることとの分担と協働を協議し、お互いに責任をもって事業を創り出していくことが大切です。

子どもと大人が協働することによって、当事者の視点が明確になりそれぞれの地域の実情にあった施策や活動の方向性が明らかになります。

基本目標 基本理念を実現するために、3つの基本目標を掲げました。

基本目標Ⅰ：子どもが健やかに育ち、
一人ひとり自分の中に光るものを持っている

基本目標Ⅱ：子どもが安らいでいる家族があり、
家族が地域とつながっている

基本目標Ⅲ：子どもが地域の中で大切にされている

（３）町田市子どもマスタープランの施策体系

基本目標Ⅰ：子どもが健やかに育ち一人ひとり自分の中に光るものを持っている

重点目標１：子どもの遊びや体験が大切にされ、主体的に参加し意見表明できる

- 個別目標（１）：コミュニケーション能力を育てる
- 個別目標（２）：参加と意見表明の場や機会をつくる
- 個別目標（３）：救済とやり直しの場や機会を保障する

重点目標２：大人になっていく力をつける（市民性の形成を育む）

- 個別目標（１）：乳幼児期の養護の充実
- 個別目標（２）：幼児教育の充実
- 個別目標（３）：学校教育の充実
- 個別目標（４）：思春期の子ども達の心と身体への健康教育
- 個別目標（５）：体験活動から学ぶこと（文化・スポーツ活動等）

基本目標Ⅱ：子どもが安らいでいる家族があり、家族が地域とつながっている

重点目標１：親になる力を身につける

- 個別目標（１）：親スタート期を支える
- 個別目標（２）：子育て期を支える
- 個別目標（３）：男女共同の子育てを進める
- 個別目標（４）：親の悩みを支える

重点目標２：親が働くことを支える

- 個別目標（１）：保育支援
- 個別目標（２）：サービスの質の向上と効果的・効率的な提供の充実

重点目標３：きめ細やかな支援が必要な家族を支える

- 個別目標（１）：障がいのある子どもと家族への支援
- 個別目標（２）：ひとり親家族への支援
- 個別目標（３）：外国籍家族への支援
- 個別目標（４）：被虐待児（DV家族児童を含む）と家族への支援

基本目標Ⅲ：子どもが地域の中で大切にされている

重点目標１：人と人が関わりつなげる場をつくる（家庭・施設・学校・地域・行政の協働）

- 個別目標（１）：地域の人材育成と人材活用
- 個別目標（２）：地元事業所・商店の関わり
- 個別目標（３）：体験できる場（多様な体験ができる機会を増やす）
- 個別目標（４）：交流できる場（子どもや子育てしている人がふれあい情報交換できる場を増やす）
- 個別目標（５）：子どもセンター・地域子育てセンターを中心とした地域づくり

重点目標２：一人ひとりに情報が確実に届く

- 個別目標（１）：子どもと親への情報の確保

重点目標３：みんなで安全・安心のまちをつくる

- 個別目標（１）：子どもの安全・安心の確保
- 個別目標（２）：子育てしやすいまちづくり

4. 子どもマスタープランに基づく各施策の取り組み

この章は、3つの基本目標ごとに次のように構成されています。

■ 重点目標

【 重点目標の解説 】

◆ 個別目標

【 個別目標の解説 】

【 指 標 】 <例>

指標名	単位	2011 年度 実績値	2012 年度 実績値	2013 年度 実績値	指標数値出典 (所管課)	備考
預かり保育実施 幼稚園数	園	11	14	14	子ども生活部 子育て支援課	市の預かり保育充実補助金の交付を 受けた私立幼稚園数 ※中期経営計画指標

【 解 説 】重点目標・個別目標のうち測定可能なものについて評価指標をつけ、2011年度から 2013 年度の数値を記載しています。他の資料から引用したもののについては、出典資料とその所管課（2013 年度）を記載しています。なお、調査内容等が変わり、数値を示すことができないものについては、実績値は「-」で掲載しています。

個別目標を達成するための事業の具体的紹介<例>

【 解 説 】この個別目標を達成するために行われた 2013 年度事業のうち、特徴的な事業とその内容・担当部課を紹介しています。

担当:事業を担当している部 課名

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪<例>

部名	事業名	事業の内容	対象	実施場所	所管課・係
子ども 生活部	運動会 「キッズオリンピック」	運動会を通して、さまざまな世代の交流が行われ、楽しさ、達成感を感じることを目的に実施しました。高校生・大学生は企画・実施者として運営を行いました。	乳幼児親子 小学生～大 学生	子どもセンター ばあん	児童青少年課 子どもセンター ばあん

【 解 説 】この個別目標を達成するために行われている事業のうち、紙面の都合で詳しい説明をすることのできなかった事業を名称と担当課のみ掲載しています。

* 事業を所管している部・課の名称は 2013 年 4 月現在のものですが、2014 年 4 月の組織改正で名称が変更となった課については、新旧両方の課の名称を掲載しています。

◎基本目標Ⅰ 子どもが健やかに育ち、一人ひとり自分の中に光るものを持っている

■重点目標Ⅰ 子どもの遊びや体験が大切にされ、主体的に参加し意見表明できる

【重点目標の解説】

- ①子どもが様々な遊びや体験の中で人間関係について学ぶことができ、大人も子どもの遊びや体験が大切なことを理解できるようにします。
- ②子どもが社会の様々なことに主体的に参加し、意見表明ができることを理解し、実践できるようにします。
- ③大人が子どもの参加や意見表明について理解し、受け入れることができるようにします。

◆1-1-個別目標Ⅰ コミュニケーション能力を育てる

【個別目標の解説】

子どもが幅広い人間関係をつくり、意思疎通を図ることができるようにします。

読書活動の推進

「第二次町田市子ども読書活動推進計画」に基づき、「意思疎通できる論理性や感性を養う」ことや乳幼児期から読書に親しむことを目的に図書の貸し出しやおはなし会を行いました。おはなし会は、読書活動を行っている市民の団体にもご協力をいただき、実施しました。

担当：生涯学習部図書館・市民部市民課(玉川学園駅前連絡所)・市民部忠生市民センター・市民部南市民センター(南町田駅前連絡所)・市民部小山市民センター・子ども生活部児童青少年課(子どもセンターばあん・子どもセンターつるっこ・子どもセンターぱお)

※なお、忠生市民センター、南市民センター(南町田駅前連絡所)、小山市民センターは図書の貸し出しのみを行っています。

高齢者と近隣保育所の園児等の交流

近隣保育所(大蔵保育園・山崎保育園・こうさぎ保育園)の園児たちが高齢者福祉センターへ来館し、歌やダンスや劇をセンター利用者の高齢者の方々に披露しました。また、高齢者と園児たちが一緒に手遊びやゲームを楽しみ、交流を図りました。

担当：いきいき健康部高齢者福祉課

(ふれあいいちよう館・ふれあいくぬぎ館・ふれあいやき館)

さがまちカレッジ

相模原・町田地域の学校と連携し、体験学習講座を開講しました。学生が講師を務めた講座もありました。

◇Kids English in SALESIO-親子で楽しむKids English-

◇親子でピクトグラムうちわを作ろう

◇水族館の仕事-北里大学海洋生命科学部夏の体験講座-

◇「ゲームを作ってみよう!」プログラミングワークショップ(講師:青山学院大学生)

担当:生涯学習部生涯学習センター

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
生涯学習部	保育室文学サロントーク「ちんぷいぷい」	小さくたって文学(ことば)大好き!をキャッチフレーズに、わらべ歌や絵本の読み聞かせ等を通して、ことばを楽しむ活動をボランティアの協力を得て実施しました。親子交流の時間を設けることで、親にとって安心できる場になるとともに、家庭に絵本をつなげる場となりました。	0歳~1歳児とその保護者	文学館	図書館(文学館)
	2歳児あつまれ!四季をあそぼ!	季節を感じるわらべ歌や紙芝居を通して、ことばを楽しむ活動を行いました。	2歳児とその保護者		
	3~4歳児あつまれ!	市民団体と協働し、季節を感じるわらべ歌や紙芝居を通して、ことばを楽しむ活動を行いました。	3歳~4歳児とその保護者		
	絵本の読み聞かせ指導	町田第二中学校への出張事業で、絵本の読み聞かせの指導を行いました。	中学生、担当教諭	町田第二中学校	

◆1-1-個別目標2 参加と意見表明の場や機会をつくる

【個別目標の解説】

子どもが家庭・学校・地域で大人を信頼し、自由に意見を言うことができるようにします。

【指標】

指標名	単位	2011年度実績値	2012年度実績値	2013年度実績値	指標数値出典(所管課)	備考
子どもセンターおよび子どもクラブの子ども委員会委員数(2013年度末現在)	人	129	121	132	子ども生活部 児童青少年課	—
市が実施した、子どもを対象とした事業のうち子どもが企画運営に参加した割合	%	9.1	8.9	8.2	子ども生活部 子ども総務課	子ども総務課が市の各課に行った調査

子どもセンターの子ども委員会

子どもセンターばあん、子どもセンターつるっこ、子どもセンターばお、子どもセンターただONに小学生～18歳までが参加・運営する子ども委員会が設置されています。子ども委員会では、子どもたちが主体的に子どもセンターのルールや行事の企画・準備・運営などについて、各センターのスタッフと共に考え、活動しました。

担当:子ども生活部児童青少年課

子ども教育委員会

市立小学校全42校の児童の代表が集まり、テーマ(2013年度は「町田市の小学校を楽しくするために、ぼくたち、わたしたちにできること」)について、事前に学校で話し合った意見をもとに、子どもたち自らが解決に向けて出来ることを話し合い、発表しました。

担当:学校教育部教育総務課

展示関連事業

文学館の展覧会で、展示に関連するワークショップを行いました。

- ◇「漢字がCOOL展」で、活版印刷や文字について学ぶワークショップを行いました。
 - ・「超変換!もじバケるで遊ぼう!」
 - ・「活版印刷を体験してみよう!」
- ◇「きのこ×文学ワンダーランド」展で、きのこについて学んだり、表現するワークショップを行いました。
 - ・「おはなしづくりにチャレンジ!」
 - ・「ことばらんど探検隊!きのこの秘密を探れ!」
 - ・「きのこ×文学×クッキング」
 - ・「きのこDEアート」
 - ・「きのこであそぼ!しかけ絵本づくり」
- ◇「赤川次郎展」で、さし絵制作のワークショップを行いました。
 - ・「三毛猫ホームズのさし絵教室」

担当:生涯学習部図書館(文学館)

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
文化スポーツ 振興部	サテライト展示「うつせ、ぼくらのカラフル龍」	玉川大学芸術学部メディア・アーツ学科と金井小学校のワークショップによる作品展示を行いました。	金井小学校 児童	和光大学ポブリホール鶴川	文化振興課 (博物館)
	国体関連イベント 夏休みイチオシ総選挙！！	夏休み期間中の企画展出品作品から十数点抜粋し、投票シートを用意しました。参加者には、展覧会鑑賞後その中から1点を選び、理由を記入してもらいました。シートは回収し、エントランスホールに掲示しました。回収時に国体周知のチラシとクリアファイルを配布しました。	小学生 中学生	国際版画美術館	国際版画美術館
	子ども講座①② 「絵の具の世界から生き物を探そう！！」	アーティストのかおかおパンダさんを講師として招き、大きな板に絵の具を用い筆や手を使って自由に点や線を描きました。その後描かれたものの中に生き物の形を見つけ出し、描き進め作品を作りました。	4歳～小学6年生の親子	国際版画美術館	国際版画美術館
	夏期子ども講座①② 「版画でつくろう！2013 夏☆Tシャツ」	東京学芸大学・清野泰行准教授とその研究室ゼミ生徒の指導により、版を使った制作をしました。出来上がった作品と感想文を、指導したゼミ生徒の作品とともに8/6～11の期間、市民展示室で展示発表しました。	小学3～6年生		
地域福祉部	中学生人権作文コンテスト	人権問題に関する作文を書くことにより、人権尊重の重要性や必要性について理解を深め、豊かな人権感覚を身につけることを目的に行いました。	中学生	中学校 ・町田第一 ・南 ・南大谷 ・つくし野 ・南成瀬 ・鶴川 ・鶴川第二 ・金井 ・忠生 ・木曾 ・小山	福祉総務課 総務係
	社会を明るくする運動 支援事業	“社会を明るくする運動”の一環で作文コンテストを実施しました。選考委員会により作品を選び、東京都推進委員会へ推薦しました。	・小学5・6年生 ・中学生	町田市役所	福祉総務課 事業係
子ども生活部	のびっこ遊び隊 IN 忠生	2014年1月末オープンの、子どもセンターただONに隣接する忠生公園にて竹馬、ストラックアウト等の遊びを提供しました。(5回)	0歳～18歳	忠生公園	児童青少年課 子どもセンターただON準備職員
	ハンドベルクラブ「カナモリーナ」	ハンドベルの練習、演奏を通して協調性を養い、学校学年をこえた仲間づくりをする定例クラブです。「ばあん冬まつり」・「南地区委員会ふれあいコンサート」・近隣の老人ホーム「レストヴィラ南町田」・「ばあん乳幼児向け/ここにコンサート」での公演に出演しました。(23回)	小学生以上	金森第二学童 保育クラブ 子どもセンター ばあん	児童青少年課 子どもセンターばあん
	運動会 「キッズオリンピック」	運動会を通して、さまざまな世代の交流が行われ、楽しさ、達成感を感じることを目的に実施しました。高校生・大学生は企画・実施者として運営を行いました。	乳幼児親子 小学生～大学生	子どもセンター ばあん	
	フレッシュコンサート	玉川大学吹奏楽団の協力のもと、市内の小学生～高校生の部活動の発表の場として開催している音楽会です。出演者自らが運営・進行を行うことにより自主性を育てるとともに、他校との演奏交流による相互成長を目的としています。	・小学生 ・中学生 ・高校生	ひなた村	ひなた村
	創作童話コンクール	市内の小・中・高校生から「創作童話」を募集。入賞作品を製本して入賞者に配付したほか授賞式では劇団による市長賞受賞作品の朗読を行いました。	・小学生 ・中学生 ・高校生	ひなた村	
生涯学習部	小学生対象学習支援事業「ブックトーク」「連句」等	南第一小学校や鶴川第一小学校、大戸小学校などへの出張事業で、「町田ゆかりの作家」を取り上げたブックトークと連句あそび、八木重吉の説明、紙芝居上演会、太筆お習字会を行いました。	小学生、保護者、担当教諭	小学校 ・南第一 ・鶴川第一 ・大戸 ・町田第一 ・町田第二 ・小山田	図書館(文学館)

◆ 1-1-個別目標3 救済とやり直しの場や機会を保障する

【個別目標の解説】

子どもが悩んだときに気軽に相談するところがあり、立ち直りを支えることができるようにします。

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
学校教育部	教育相談	教育相談は、来所相談、電話による相談、出張相談の3つの相談形態があります。不登校、集団不応、友人関係、発達に関する事、学習に関する事、生活面に関する事、いじめ、体罰等、学校生活や家庭生活等に関する問題について相談に応じました。	幼児から18歳までの子どもと保護者、学校・保育園・幼稚園関係者	教育センター	教育センター

■重点目標2 大人になっていく力をつける(市民性の形成を育む)

【重点目標の解説】

子どもが成長段階に応じた様々な体験の中で社会について学び、社会の一員としての自覚を持つことができるようになります。

◆ 1-2-個別目標1 乳幼児期の養護を充実させる

【個別目標の解説】

乳幼児とその親が精神的に安定した状態で生活を送ることができるようにします。

◆ 1-2-個別目標2 幼児教育を充実させる

【個別目標の解説】

幼児を持つ親が様々なプログラムの中から教育方法を選択することができるようにします。

【指標】

指標名	単位	2011年度実績値	2012年度実績値	2013年度実績値	指標数値出典(所管課)	備考
預かり保育実施幼稚園数	園	11	14	14	子ども生活部 子育て支援課	市の預かり保育充実補助金の交付を受けた私立幼稚園数 ※中期経営計画指標

私立幼稚園の預かり保育事業への補助

幼稚園の「預かり保育」は、通常の教育課程に係る教育時間の前後や長期休業期間（春・夏・冬休み）などに、幼稚園に在園児の保護者の要請に応じて、子どもを預かるものです。

幼稚園に在園している保護者の就労形態の多様化等に伴い、「預かり保育」へのニーズが高まっています。町田市では、教育時間および預かり保育時間を合計して8時間以上、通年で開園する等の市が定める一定の条件を満たす預かり保育を実施している園に対し、事業費の補助を行いました。

担当：子ども生活部子育て支援課

◆ 1-2-個別目標3 学校教育を充実させる

【 個別目標の解説 】

義務教育の対象となるすべての子どもが小学校・中学校に楽しく通えるようにします。

【 指 標 】

指標名	単位	2011年度 実績値	2012年度 実績値	2013年度 実績値	指標数値出典 (所管課)	備考
充実した学校教育を子どもに受けさせることができていると感じている保護者の割合	%	50.5	47.9	47.8	市民意識調査 (政策経営部企画政策課)	10段階評価の評価7以上の割合。評価10が最高得点。数値が大きいかほど評価が高い。

納税活動推進事業

まちだ納税貯蓄組合連合会の活動を推進する一助として、町田市内中学校3年生を対象に同連合会が実施している中学生の税の作文について、租税教育の一環として町田市も協力しました。

担当:財務部納税課

小中一貫教育・町田っ子カリキュラム

教育委員会では、2008年度から市立全小・中学校を本市独自の重点カリキュラムでつなげる全市型の小中一貫「町田っ子カリキュラム」と、地域ごとに課題を明確化し、共有しながら、その解決に向けて小・中学校が連携して指導を図る地域型の「小中一貫指導推進校」のふたつの取り組みを軸とした「小中一貫教育」を実施しています。「町田っ子カリキュラム」は、規範意識やコミュニケーション能力を高めながら、働くことや学ぶことの大切さを実感し、心身ともに健康で、進んで社会に関わろうとする子どもたちを育てていくことを目標にしています。また、小・中学校全校で、小中一貫教育（規範教育、英語教育、キャリア教育、食育）カリキュラムにより、授業を実施しました。

担当:学校教育部指導課

特別支援教育

障がいのある児童生徒に対して、一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善・克服できるよう、必要な支援を行う教育です。教育委員会では、学校をサポートするために、特別支援教育巡回指導員（臨床心理系の大学院生等）の派遣や医師や臨床心理士及び大学教授等で構成される特別支援教育専門家チームによる学校訪問を実施して、学校現場での問題解決のための支援を行いました。

担当：学校教育部教育センター

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
地域福祉部	「種をまこう」の冊子配布	人権について考えるための冊子を、市内の小学校に配布しました。	小学生	市立小学校	福祉総務課 総務係
	「子どもの人権SOSミニレター」の配布	子どもたちの悩みを把握し、人権問題の解決を図るため、ミニレターを配布しました。	小学生 中学生	市立小・中学校	福祉総務課 総務係
いきいき健康部	動物愛護啓発パンフレット「ほんとうに飼えるかな？」配布	学校教育の場で、動物の愛護や適正飼育の普及啓発のための教材として、パンフレットを配布しました。	小学3年生	市内小学校	生活衛生課 動物管理係
	薬物乱用防止教室	医薬品の適正使用や、薬物乱用防止について、町田市薬剤師会の薬剤師が講師として講話を行いました。保健所は、講話用資材の提供等を行いました。	小学生	市内小学校	生活衛生課 医務業務係
子ども生活部	君も縄文人になろう！	公立小学校の6年生の授業の一環として、火おこし・弓矢体験、市内で出土した縄文土器の学習など縄文時代の体験学習を行いました。	小学6年生	ひなた村	ひなた村
環境資源部	リレーセンターみなみ施設見学	南地区の小学校4年生の社会科授業の一環による「ごみ」について学習するため、施設見学を行いました。	小学4年生	リレーセンター みなみ	資源循環課 管理係
学校教育部	小学校適応指導教室「けやき教室」 中学校適応指導教室「くすのき教室」	公立小・中学校に在籍する不登校および不登校の傾向にある児童・生徒に対して、学校復帰の指導および援助を目的として、事業を実施しました。	小学生 中学生	教育センター	教育センター
	e-ラーニング	不登校児童・生徒が自宅のパソコンを通じて、桜美林大学が開設する学習支援サイト「学びの広場」にアクセスし、小学校1年生から中学校3年生までの各自の学習したい教科、内容を自主学習できるようにサポートしました。	小学生 中学生	自宅	教育センター
	小学校1年学級への生活指導補助者派遣	小学校1年学級への生活指導補助者派遣 小学校1年生の学級で、児童が規律ある学校生活にスムーズに適應できるように補助を行いました。	小学1年生	市立小学校	指導課管理係
	特色ある学校づくり	各小中学校において「国際理解」、「地域理解」、「ボランティア活動」、「福祉体験」等を実施し、地域に開かれた特色ある学校づくりを行いました。	市立小・中学校	市立小・中学校	指導課管理係
生涯学習部	小学生対象学習支援事業「ブックトーク」連句」等	南第一小学校や鶴川第一小学校、大戸小学校などへの出張事業で、「町田ゆかりの作家」を取り上げたブックトークと連句あそび、八木重吉の説明、紙芝居上演会、太筆お習字会を行いました。	小学生、保護者、担当教諭	小学校 ・南第一 ・鶴川第一 ・大戸 ・町田第一 ・町田第二 ・小山田	図書館（文学館）

◆ 1-2-個別目標4 思春期の子どもたちの心と身体への健康教育を充実する

【個別目標の解説】

思春期の子どもたちが自分の世代の心や身体について学ぶことができるようにします。

小学生・中学生に対する道路利用マナー向上啓発活動

道路利用マナー向上を呼びかけるため、市内の小学校4年生に、道路適正利用啓発リーフレット「君と歩きたい道」を配布しました。

さらに、啓発促進グッズとして“みちピカ町田”ステッカーの図案を使用した「反射シール」を配布し、道路をより良くする運動“みちピカ町田”の紹介をしました。

そして、中学校1年生には、リーフレット「“Michi（みち）”～毎日通っている道について考えてみましょう～」を、配布しました。

担当：建設部道路管理課

学校給食

栄養バランスのとれた食事を提供し、正しい食習慣を身につけることをはじめ、好ましい人間関係の育成や健康増進を目的として、学校給食を実施しました。小学校給食は全校、自校調理方式です。中学校給食は希望制で、弁当併用外注方式を採用しています。武蔵岡中学校については、大戸小学校との親子方式で実施しました。

担当：学校教育部保健給食課

【用語解説：弁当併用外注方式】

家庭からの弁当を持参するか、調理業者が調理し配送する中学校給食（弁当形式）を希望するか、選択する方式。

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
いきいき健康部	思春期精神保健相談（保健師）（専門医）	不登校、ひきこもり、家庭内暴力、摂食障がいなどの思春期のこころの問題について、保健師による相談を行いました。また、月1回の思春期専門医による相談を行いました。	子ども～大人	町田市保健所	保健対策課 地域保健係

◆ 1-2-個別目標5 体験活動から学ぶようにする(文化・スポーツ活動等)

【 個別目標の解説 】

子どもが様々な活動に参加し、多くの体験を得ることができるようにします。

【 指 標 】

指標名	単位	2011年度 実績値	2012年度 実績値	2013年度 実績値	指標数値出典 (所管課)	備考
子どもが野外活動やボランティアの活動に参加した保護者の割合	%	39.1	28.1	30.8	市民意識調査 (政策経営部企画政策課)	—

青少年施設ひなた村

青少年の文化活動や創作活動、あそびと創造の場と機会を提供する施設です。市内で活動しているサークルやグループ等にひなた村屋内外を開放しています。カリヨンホール、レクリエーションルーム、和室、屋外炊事場があります。子どもグループの育成事業として人形劇、電気工作、遊び、ネイチャー（自然体験活動）の各グループが、毎週ひなた村に集まり活動しました（毎年5月に募集）。また、主催事業として、縄文体験学習や、チャレンジ教室、創作童話募集など、青少年を対象とした事業を実施しました。

◇所在地 町田市本町田 2863

担当:子ども生活部ひなた村

大地沢青少年センター

大地沢青少年センターは町田市の西端にあり、草戸山をはじめとする山に囲まれた自然に恵まれた場所です。

東京ドーム約4.7個分の敷地内には、野外炊事場やキャビン、テントサイト、卓球やバドミントンのできるレクリエーションホールの他、本館内には宿泊室や音楽演奏ができる多目的ホールもあります。

青少年を対象とした主催事業としては、陶芸教室や木工作教室、ハイキングなどの日帰り事業や、キャンプ、川上村での林業・農業体験といった宿泊事業を実施しました。また、青少年団体等を対象に、絵付け陶芸やバウムクーヘン作りを実施しました。

◇所在地 町田市相原町 5307-2

担当:子ども生活部大地沢青少年センター

ウルトラティーンズ

グループ活動を通して、キャンプ、町探検、運動会、センター合宿などを楽しみながら、リーダーとしての経験を身に付けるための講座を各子どもセンターで実施しました（運動会と祭りは子どもセンター合同で実施）。また、運動会・センター合宿での活動内容を、子どもたちが企画して行いました。

**担当:子ども生活部児童青少年課
(子どもセンターばあん・つるっこ・ばお)**

夏の工作教室

「夏休み企画」として、幼児～18歳を対象に工作教室を開催しました。

- ◇レザークラフトにちょうせん！
- ◇七宝焼きでキーホルダーをつくろう！
- ◇ビーズで簡単アクセサリ
- ◇木工作…「本立てをつくろう！」「ミニベンチをつくろう！」「コーナーラックをつくろう！」
- ◇陶芸でランプシェード！
- ◇アイロンビーズをつくっちゃおう！
- ◇ガラスフュージングで銘々皿！

担当：子ども生活部児童青少年課(各子どもセンター)

体操教室

総合体育館で、様々な年齢の子どもを対象とした体操教室を実施しました。

- ◇乳幼児とその保護者を対象とした体操教室…よちよち親子体操教室、てくてく親子体操教室、親子体操教室、親子ふれあい体操教室
- ◇幼児向け体操教室…ちびっこ体操教室、わんぱく体操教室
- ◇小学校1・2年生向け体操教室…マット・鉄棒を中心に行う小学生短期集中体操教室
- ◇運動が苦手な小学生を対象とした体操教室…鉄棒、跳び箱、マット運動を行う小学生体操教室

担当：文化スポーツ振興部スポーツ振興課

普及啓発事業

スポーツ祭東京2013町田市開催競技（バドミントン・バレーボール・軟式野球・サッカー・レクリエーションダンス）の普及啓発を目的としたスポーツ教室を開催しました。

**担当：文化スポーツ振興部スポーツ振興課
(2013年度は文化スポーツ振興部国体推進課)**

環境とごみに関する出前講座（幼稚園・保育所）

幼稚園や保育所の園児を対象に、幼児にもわかりやすく楽しく、物を大切に作る心や分別の大切さを学ぶ講座を実施しました。申し込みのあった園に職員が出向いて、職員手作りの紙芝居、お芝居や歌を交え、ごみ収集車を持ち込んでのごみ入れ体験などを行いました。2013年度は41園で44回出前講座を実施しました。

環境とごみに関する出前講座（小学校）

小学生の環境教育プログラムの一環として、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の大切さを学ぶ講座を実施しました。申し込みのあった学校に職員が出向き、職員手作りのDVDの上映や、学校に持ち込んだごみ収集車を動かしながらの説明、ごみ入れ体験などを行いました。2013年度は29校で出前講座を実施しました。

担当：環境資源部3R推進課

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
市民部	夏休み子ども金銭教室	幼少の頃からの金銭教育は、成長して後の消費行動に大きく影響します。そこで、小学生を対象とした金銭・金融教育を実施しました。2013年度は「No.1のケーキ屋さんはどこだ!」というタイトルで、ゲームを通じて、売値と仕入れ値の関係やこの国から仕入れるかなど、「経済」について学びました。	小学生	町田市民フォーラム	市民協働推進課 消費生活センター
	夏休み子ども環境教室「わくわく地球防衛隊」	玉川大学学生環境保全委員会の学生たちと楽しく遊びながら、環境問題についての意識を育み、また、自ら考えることの大切さを学びました。	小学生	町田市民フォーラム	市民協働推進課 消費生活センター
	夏休み子ども実験教室	手回し発電機を使い、白熱灯、蛍光灯、LEDの比較を行う「あかりのエコ教室」を開催しました。環境問題への意識や科学的な洞察力を身につけ、将来賢い消費者になってもらうことが期待されます。	小学4年生～6年生	町田市民フォーラム	市民協働推進課 消費生活センター
	夏休み親子食育教室	「大好きな(?)清涼飲料水とインスタントラーメンの秘密を知ろう」というタイトルで、食品表示や食品添加物について学びました。	小学4年生～6年生とその保護者	町田市民フォーラム	市民協働推進課 消費生活センター
	夏休み親子工作教室	LEDを使ったあんどんを作りました。楽しく工作をしながら、光の三原色や環境問題について学ぶ構成となっています。	小学4年生～6年生とその保護者	町田市民フォーラム	市民協働推進課 消費生活センター
文化スポーツ振興部	第13回まちだ全国バレエコンクール	次代を担う舞踏家の全国からの発掘育成を図ることを目的として開催。このコンクールを足掛かりに世界へ羽ばたくダンサーが増え、レベルの向上が見られます。	小学生～高校生	町田市民ホール	文化振興課
	第38回全国町田ピアノコンクール	全国から参加者を募り、ピアノコンクールを開催。青少年の育成、支援を推進しました。各部門の全体的なレベルアップが見られます。	小学生以上	町田市民ホール、和光大学ポプリホール鶴川	文化振興課
	第5回全国ジュニアバレエぐれコンクール	将来性のある子どもたちを育成する、三多摩地域においては唯一のぐれバレエコンクール。	小学生～高校生	町田市民ホール	文化振興課
	クラシックバレエ育成プログラム バレエ夏期講習会	井上バレエ団 藤井直子さんの指導で、町田市民ホール舞台にて実施。青少年の育成、支援を推進しました。	小学生～中学生	町田市民ホール	文化振興課
	第11回ジュニアフェスティバル	音楽の部、バレエの部として2日間実施。青少年がプロの演奏家と共演したり、バレエの選抜チームを組んだり、多様なプログラムで内容も充実したものでした。	小学生～高校生	町田市民ホール	文化振興課
	キッズ伝統芸能	子どもたちを対象に、日本の伝統文化・芸能(箏)の体験を実施しました。	小学生～高校生	町田市民ホール	文化振興課
	親子で楽しむ茶会	「町田市民文化祭～秋の催し～」内で、茶道会を開催。経験のない方でも茶道を学ぶことができ、伝統文化に触れられる機会でした。	幼児～高校生	町田市民ホール	文化振興課
	新春子どもフェスティバル	「新春文化の集い」内で、保育園協会の協力のもと、3階の展示スペースに保育園児の画を展示。多くの親子に来館していただきました。	幼児	和光大学ポプリホール鶴川	文化振興課
	NPO法人町田市芸術協会 PRESENTS Invitation to Ballet バレエへの招待	バレエ経験者から初心者も含めて、舞台上での公開レッスンを実施。バレエの世界にふれる機会の提供と共に、青少年の育成、支援を推進しました。	幼児～高校生	和光大学ポプリホール鶴川	文化振興課
	夏休みピンホールカメラ教室	ピンホールカメラの組み立てから、撮影・ネガ作り、プリントまでを体験しました。また、撮影したプリントによる写真展を開催、カメラの楽しさを知ってもらいました。協力:日本写真協会、町田市写真協会	小学生以上	町田市フォトサロン	文化振興課
夏休みこどもフェア・チャレンジマッスル2013	楽しく体を動かして遊ぶことを通じて、子どもたちに交流を深めてもらいました。	小学生	総合体育館	スポーツ振興課	

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
文化スポーツ 振興部	第41回町田市こども マラソン大会	長距離走を通じて体を動かす楽しさを知ってもらい、健康維持や体力増進のきっかけづくりを図ると共に、子どもたちに交流を深めてもらいました。	小学3年生 ～6年生	陸上競技場	スポーツ振興課
	まちだ★こどもフェスタ 2013	こどもの日において、子どもたちがスポーツに親しみきっかけを作り、地域の交流を図るために、スポーツ教室や体操のショーを行いました。	就学前児童 ～小学生程度	総合体育館	スポーツ振興課
	小学生スクール	小学生の水泳初心者を対象に、水に慣れるところから浮き身、キック、4種目の完泳を目指し、実施しました。	小学生	市立室内プール	スポーツ振興課
	ジュニアテニスクリニック	基礎運動能力の向上から、テニスの基礎、試合を楽しむまでレベル別クラスを設定し実施しました。	4歳児～高校生	成瀬クリーンセンターテニスコート	スポーツ振興課
	ジャイアンツアカデミー 指導による少年野球 教室	ジャイアンツアカデミー指導による少年野球教室を開催しました。(走塁、投球、守備、打撃練習など)	町田市少年 野球連盟に 所属するチ ームの小学 3、4年生	三輪みどり山 球場	スポーツ振興課
	まちだ成瀬オープン ジュニアテニストーナメント (ジュニアテニス大会)	ジュニア選手が実戦経験を積み、レベルアップを図る育成の場を提供しました。	小学生(12 歳以下) 中学生(14 歳以下)	成瀬クリーンセンターテニスコート	スポーツ振興課
	ゆりーとダンス教室	スポーツ祭東京2013マスコットキャラクター「ゆりーと」とゆりーとキャラバン隊がゆりーとダンス教室を出張開催しました。	児童	子どもセンター	スポーツ振興課 (2013年度は国体 推進課)
	サッカーファミリー町田 フェスティバル「みんな でボールけてみよう」	市内及び近隣サッカーチームの小学5年生を招待し、サッカー大会を行いました。併せて、クリニック・スタジアムツアーを実施しました。	小学5年生	陸上競技場	スポーツ振興課 (2013年度は国体 推進課)
	軟式野球競技「アスリ ートトークショー」	町田駅前広場特設ステージにて、元プロ野球選手によるトークショーを開催し、野球の楽しさ・観戦のポイントなどを語ってもらいました。	-	町田ターミナル プラザ	スポーツ振興課 (2013年度は国体 推進課)
	バレーボール・バドミントン・ ニュースポーツに チャレンジ!	初心者を対象に町田市内各所施設を使い、小学生を中心としたスポーツ教室を実施しました。	小学生	子どもセンター・ひなた村・ サン町田旭体 育館	スポーツ振興課 (2013年度は国体 推進課)
	スポーツ祭東京 2013 炬火式典イベント内 文化プログラム ワン ワンとあそぼうショー ～親子ふれあいたい そう～	スポーツ祭東京 2013の大会開催気運醸成をはかり、炬火式典とこどもまつりも開催しました。55日前イベントとして、市役所と市民ホールで様々な催し物を行い、市民への周知に努めました。	幼児～ 小学生	市庁舎 町田市民 ホール	スポーツ振興課 (2013年度は国体 推進課)
地域福祉部	「人権の花」運動	協力し合って花を栽培することにより、人権の大切さに気づき、豊かな人権感覚を身に付けることを目的に実施しました。	小学生	・高ヶ坂小学校 ・鶴間小学校 ・藤の台小学校	福祉総務課 総務係
子ども生活部	ハンドベルクラブ「カナ モリーナ」	ハンドベルの練習、演奏を通して協調性を養い、学校学年をこえた仲間づくりをする定例クラブです。「ばあん冬まつり」・「南地区委員会ふれあいコンサート」・近隣の老人ホーム「レストヴィラ南町田」での公演に出演しました。23回実施	小学生以上	金森第二児童 保育クラブ 子どもセンター ばあん	児童青少年課 子どもセンターば あん
	茶道「こすもすクラブ」	お茶のお稽古を通して茶道の心「和敬静寂」に触れ、豊かな感性を養い交流を深める定例クラブです。夏のお茶会(8月)、ひなまつり茶会(2月)・野点茶会(3月)を実施しました。(全11回実施)	小学生～ 高校生	子どもセンター ばあん	児童青少年課 子どもセンターば あん
	つくし野中学校特別支 援学級 陶芸教室	つくし野中学校特別支援学級の生徒を対象とした陶芸教室です。製作を通して感性を豊かにすることを目的として実施しました。	つくし野中 学校特別支 援学級の生 徒	子どもセンター ばあん	児童青少年課 子どもセンターば あん
	工作教室	廃材等を利用する工作教室です。作ることを楽しみながら、資源の大切さや再利用についても考える定例事業を実施しました。(全44回)	幼児～18歳	子どもセンター ばあん	児童青少年課 子どもセンターば あん
	こうさくたいむ	身近な材料で、遊べるものや飾れるものを作り、手作りの楽しさを知ってもらう工作教室を実施しました。(全39回実施)	幼児～18歳	子どもセンター つるっこ	児童青少年課 子どもセンターつ るっこ

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
子ども生活部	陶芸に挑戦!	形成・釉薬がけの2日間で完成させる、初級の陶芸教室を実施しました。2日間×14回	小学4年生～18歳	子どもセンターつるっこ	児童青少年課 子どもセンターつるっこ
	アウトドア'S	野外に飛び出しキャンプや長距離ハイクに挑戦しました。「アドベンチャーキャンプ」「サマーキャンプ」「焚き火でおやつ作り」「火のキャンプ」(全6回実施)	小学生～18歳	町田市市内・市外	児童青少年課 子どもセンターつるっこ
	一輪車フェスティバル	一輪車協会より一輪車10台が寄贈されたことを機に、子どもたちに一輪車の楽しさを教えました。	小学生～18歳	子どもセンターつるっこ	児童青少年課 子どもセンターつるっこ
	つくっちゃ王!	身近な素材を使った工作で、自由に一人ひとりのペースに応じて工作に取り組むことで、苦手意識を持つ子どもも抵抗なく参加できるものとして、実施しました。(全37回実施)	幼児～18歳	子どもセンターばお	児童青少年課 子どもセンターばお
	あそんじゃ王!	野外でのびのび身体を動かし、普段遊んだことのない友達と遊びやゲームを行いました。(全33回実施)	小学生～18歳	子どもセンターばお	児童青少年課 子どもセンターばお
	王座決定戦	空き缶ツミツミ、手足フリフリ、新聞紙ビリビリ、風船パタパタ、水トケケ、お魚ツリツリの各王座を決定し、表彰しました。(全6回実施)	幼児～18歳	子どもセンターばお	児童青少年課 子どもセンターばお
	川上村子ども自然体験塾～林業編～	川上村の深い森の中で、不要木の伐採や植樹、しいたけのコマ打ちを体験し、森林の保全について学びました。	小学4～6年生	町田市自然休暇村ほか	大地沢青少年センター
	川上村子ども自然体験塾～農業編～	川上村でレタスの収穫・作付け体験や出荷作業を見学し、普段食べている野菜がどのように育ち、自分たちのもとへ届くのかを学びました。	小学4年生～6年生	町田市自然休暇村ほか	大地沢青少年センター
	春の親子ハイキング	森林インストラクターの講師の案内のもと、親子で高尾山をハイキングし、自然との触れ合いと親子の絆の大切さを体感しました。	小・中学生の親子	大地沢青少年センターと高尾山周辺	大地沢青少年センター
	森林体験塾	身近な自然を守り育てる市民団体の指導の下、森林整備や木工等森林体験プログラムを通じ、森の恵みと役割を体験的に学びました。(全3回実施)	小学生以上の親子	大地沢青少年センターほか	大地沢青少年センター
	夏の子どもキャンプ	夏休みに子どもたちだけでテントに宿泊し、様々な野外活動を通じ、自主性や協調性を学びました。	小学4年生～6年生	大地沢青少年センター	大地沢青少年センター
	子どもグループ(遊びグループ)	毎週水曜日にひなた村に集まり、「Sケン」や「ドッチボール」などの外遊びや室内ゲームを行い、遊びを通して助け合いの大切さや工夫することの楽しさを学びました。	小学2年生～4年生	ひなた村	ひなた村
	子どもグループ(ネイチャーグループ)	月1回、日曜日に集まり、カレーやピザなどの野外炊飯芋煮会、鳥の巣箱作り、遠足などを行い、自然に親しむとともに異なる年齢間での集団活動を通じて思いやりや協調性を育みました。	小学2年生～中学生	ひなた村ほか	ひなた村
	子どもグループ(人形劇グループ)	毎週日曜日にひなた村に集まり、人形作りから上演までを行いました。「ひなた村祭」「クリスマス公演」で公演したほか、「多摩人形げきまつり」「ころころ児童館小春祭」「子どもセンターばお」「子どもセンターつるっこ」「沼子ども会」で出張公演を行いました。	小学3年生～高校生	ひなた村ほか	ひなた村
	子どもグループ(マイクログループ)	毎週土・日曜日にひなた村に集まり、無線従事者国家試験、デジタル検定試験合格を目指し電気の基礎の学習、ロボット制作などを行いました。夏休みには『電気工作教室』を開催、グループ生が講師として四輪駆動車作り方などを説明しました。また、2月にはマイクロ展を開催し学習成果を発表しました。	小学4年生～6年生	ひなた村	ひなた村
	HIP HOPLレッスン	初心者を対象に8回にわたって現役のインストラクターの指導を受け、「子どもセンターばあん」及び「ひなた村祭」で発表しました。	小学3年生～高校生	ひなた村ほか	ひなた村
	初心者演劇教室	第1・3日曜日にひなた村に集まり、演技の勉強のほか、舞台美術、照明、音響等の実習を行いました。10月と3月には活動成果の発表の場として公演を行いました。	中学生以上	ひなた村	ひなた村
	一輪車でスイスイ	初心者を対象に、一輪車に乗れるよう9回にわたる段階的なステップで集団練習を行いました。	小学2年生以上	ひなた村	ひなた村

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
子ども生活部	デジタル教室	デジタル検定試験合格を目指し、7回の教室を通じ、コンピュータの仕組みや日常生活での活用方法を学びました。	小学4年生～6年生	ひなた村	ひなた村
	巨大ボールでゲームをしよう	1986年にカナダで考案されたニュースポーツ「キンボール」の基礎知識の習得と練習を8回にわたって行い、東京都大会、国体に出場。優勝などの成績を収めました。	小学4年生～中学生	ひなた村ほか	ひなた村
	町田子どものための日本舞踊教室	10回にわたり日本舞踊を学び、日本の伝統文化に関する理解を深めました。	小学生～高校生	ひなた村	ひなた村
	放課後系のご教室	9回の教室を通じ、電動糸のこ盤を使って木のおもちゃづくりを行いました。	小学3年生～6年生	ひなた村	ひなた村
	創って踊ろう！ダンス教室	3回の教室を通じ、基礎の運動から個人や集団での表現を学び、最終日に発表会を行いました。	小学3年生～中学生	ひなた村	ひなた村
	チャレンジ教室	オリジナルハンカチ、クリスマスリース、凧、羊毛フェルトの小物入れなどの作成や、ロボットの作成とプログラミング、もちつき、チョコ作りなどを行いました。	小・中学生	ひなた村	ひなた村
	チャレンジ教室「太陽の恵み」	畑作りから種まき、草取りを行い、落花生・ゴマの収穫までを体験しました。他に収穫したゴマ・落花生を使った油絞りやひなた村で栽培した麦を刈り取っての粉引き、トウモロコシを収穫して太陽熱を使ったポップコーン作り、七草の寄せ植えづくりなどを行いました。	3歳以上(小学3年生までは保護者同伴)	ひなた村	ひなた村
	チャレンジ教室「幼児陶芸教室」「親子陶芸教室」	茶わんやカップ、コップを製作し、色付け、絵付け、釉薬かけを行いました。	年長クラスの幼児、小・中学生とその家族	ひなた村	ひなた村
	チャレンジ教室「たきびあそび よろこび」	たき火の火おこしから始め、焼きいも、ねじりパン、土鈴を作ったほか野外ゲームなどを行いました。	小学生(3年生以下は保護者同伴)	ひなた村	ひなた村
	チャレンジ教室「たきびあそび よろこび ～たき火ワークショップ～」	たき木集めから火の管理までを学び、竹めしを作りました。	高校生以上	ひなた村	ひなた村
	夏休みチャレンジ教室	夏休みの短期教室として、キンボール体験、陶芸、木工、エコバック・モバイル・キャンドル・アクセサリ作りなどを行いました。	小学生以上	ひなた村	ひなた村
ピザ講習会	薪や木炭を使って焼く、ドラム缶ピザ作りの講習会を行いました。修了者は自主的にピザ作りを行っています。	市内在住、在勤、在学の高校生以上	ひなた村	ひなた村	
経済観光部	タケノコほり体験	公募した中学生以下の親子を対象に、竹林でタケノコほりを実施し、緑豊かな小野路町奈良ばい谷戸の自然を体験しました。	中学生以下の親子	小野路町奈良ばい谷戸	北部丘陵整備課
	鶴見川源流探検隊	公募した小学3年生以下の児童とその保護者を対象に、昆虫観察会や魚とりなどの日常生活ではなかなか味わえない貴重な北部丘陵の自然を体験しました。	小学校3年生以下の親子	上小山田町鶴見川源流保水の森	北部丘陵整備課
	里山散策とさつま芋ほり	5歳以上の子どもとその保護者を対象に、小山田緑地を親子で散策し、北部丘陵の豊かな自然環境に触れ合い、小野路の奈良ばい谷戸でさつま芋ほりを行いました。	5歳以上の親子	小野路町奈良ばい谷戸	北部丘陵整備課
	ドングリ植え	小山田小学校3年生全員を対象に、どんぐり植栽体験、地域の自然観察を実施し、北部丘陵が豊かな自然に恵まれている地域であることの理解を深めました。	小山田小学校3年生	上小山田町鶴見川源流保水の森	北部丘陵整備課
	植樹会	小山田小学校6年生全員を対象に、自分たちが3年生のときに植えたドングリからできた苗木を卒業の記念として山に植樹するとともに、保水の森の重要性を学びました。	小山田小学校6年生	上小山田町鶴見川源流保水の森	北部丘陵整備課

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
経済観光部	米づくり体験	公募した小学校4年生以上の親子を対象に、田んぼでの米づくりを年間通して体験し、普段何気なく食べているお米の出来る過程と大変さを学び、里山に興味・関心を持ってもらいました。	小学校4年生以上の親子	小野路町奈良ばい谷戸	北部丘陵整備課
環境資源部	こどもエコクラブ事業	「こどもエコクラブ」は、次世代を担う子どもたちが、地域の中で仲間と主体的に地域環境、地球環境に関する学習や具体的な取組・活動を行うものです。その活動の支援のため、全国事務局等との連携を図り、情報誌等の配布を実施しました。	幼児～高校生まで	・各家庭 ・学校 等	環境・自然共生課
	つるっくに「ミヤマ☆仮面あらわる!!」	夏休み子どもエコ学習として、昆虫体操・昆虫クイズ等を通して、生き物を大切に思い、自然環境を守る気持ちを育むことを目的として実施しました。	小学生	子どもセンター つるっこ	環境・自然共生課
	地球環境保全ポスター展	東京町田東ロータリークラブと協定を結び、環境問題に対する思いをあらわしたポスター作品を募集しました。応募作品を展示した『地球環境保全ポスター展』をリサイクル文化センターで開催しました。	小学生～中学生	リサイクル文化センター	環境・自然共生課
	「まちだ・さがみはら 絆・創・光 × JAXA」 JAXAによる講演会と星空観望会	まちだ・さがみはら 絆・創・光 のライトダウン実施日に、JAXA宇宙科学研究所と連携し、夜空の大気環境(光害)及び星空に関する講演会と観望会を実施しました。	子どもから大人まで	まちだターミナルプラザ	環境・自然共生課
	夏休みわくわくエコ体験	紙芝居と変身ボックス体験から、自分でもできることを伝える「ハチドリ教室」と「紙すき」「布ぞうり作り」体験を通じて資源の大切さを学び、リデュース、リユース、リサイクル(3R)の必要性を知ってもらうことを目的に実施しました。	小学1年生～小学6年生	リサイクル文化センター	3R推進課推進係
	リサイクルガラス砂絵教室	ガラスビンのリサイクルを楽しみながら学ぶ「環境学習」の一環として、研磨された安全なリサイクルガラス砂を使用した「砂絵教室」を実施しました。	小学3年生以上	・各子どもセンター ・リサイクル文化センター	3R推進課推進係
生涯学習部	夏休み子どもフェア	夏休み子どもフェアのプログラムとして、下記のイベントを実施しました。 ・むかしの絵図でパズルをつくろう! ・自由研究おうえんプロジェクト「昔の地図を使って自分の町を調べてみよう」	小学生	自由民権資料館	生涯学習総務課 自由民権資料館
	資料館まつり	資料館まつりの催し物として、以下のイベントを実施しました。 ・「紙芝居」 ・「町田の歴史いろはカルタ」で遊ぼう! ・「すごろく」「パズル」で遊ぼう!	小学生以下	自由民権資料館	生涯学習総務課 自由民権資料館
	わくわくプラネタリウム体験「冬の星座めぐり」	移動式プラネタリウムを使って、親子で星座や宇宙に親しむ機会を提供しました。	小学生とその保護者	生涯学習センター	生涯学習センター
	夏休み子どもフェア	親子の絆を深めることや、町田市内で活動している方、団体の活動内容を知るきっかけとすることを目的として開催しました。主な内容は下記のとおりです。 ・昔遊 ・夏休み新聞 ・科学実験教室 ・アート体験 ・インドの楽器づくり ・鶴見川源流水族館 ・星空教室&コンサート	小学生以下の親子	生涯学習センター	生涯学習センター

◎ 基本目標Ⅱ 子どもが安らいでいる家族があり、家族が地域とつながっている

■ 重点目標1 親になる力を身につける

【 重点目標の解説 】

妊娠期から子育て期の親が、安心して出産や子育てをするためのサービスを受けることができるようにします。

◆ Ⅱ-1-個別目標1 親スタート期を支える

【 個別目標の解説 】

妊娠期の親が精神的に安定して妊娠期を過ごし、出産を迎えることができるようにします。

【 指 標 】

指標名	単位	2011年度 実績値	2012年度 実績値	2013年度 実績値	指標数値出典 (所管課)	備考
妊娠健康調査の受診率	%	91.1	90.0	90.7	いきいき健康部健康課	—
産婦健康診査の受診率	%	94.9	96.4	93.1	いきいき健康部健康課	—

育児支援ヘルパー派遣事業

産後まもなく、日中に誰からも援助を得られない家庭にヘルパーを派遣し、育児相談や簡単な家事等の援助など、養育支援が必要と思われる家庭に育児支援ヘルパーを派遣しました。対象は、町田市に住所を有する方です。

- ◇ 出産し、退院した翌日から2か月以内で40時間まで
- ◇ 双子は、出産日から1年以内で100時間まで
- ◇ 三つ子以上は、出産日から4年以内で年156日まで
- ◇ 午前8時～午後7時までの時間帯のうち、1日1回連続して2時間以上4時間まで

● 費用

- ・ 1時間820円（所得税非課税世帯・生活保護世帯の減免あり）
- ・ 交通費実費。派遣日前日の午後5時以降からキャンセル料が発生します。

● サービス内容

- ・ 育児に関する援助および助言・相談
沐浴、授乳、オムツ交換、兄弟児の幼稚園・保育所の送迎等（徒歩・公共交通機関のみの利用で交通費実費）
- ・ 家事の援助（食事の準備・居室まわりの掃除・洗濯・買い物）
- ・ 健診への付き添い
* 一般の家事援助ヘルパーとは異なり、サービス内容には制限があります。

担当：子ども生活部子育て支援課(子ども家庭支援センター)

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
いきいき健康部	妊婦に対する医療費助成	対象となる疾病により入院治療された方への医療費を助成するものです。	対象疾病に該当し、所定の条件を満たす妊婦	各医療機関	保健対策課 保健対策係
	母子健康手帳	妊娠・出産・各種健康診査・予防接種を記録し健康の保持増進を図りました。	妊婦	市庁舎健康課 健康福祉会館 各市民センター	健康課
	妊婦健康診査	妊婦の健康管理と健康の保持増進に努めました。	妊婦	契約医療機関	健康課
	歯科口腔健康診査	妊婦を対象に、歯科口腔健康診査無料クーポンを配布し、健康管理と健康の保持増進に努めました。	妊婦	契約医療機関	健康課
	妊産婦・乳幼児保健指導票	経済的理由により保健指導を受け難い妊産婦・乳幼児に対して健康管理と健康の保持増進に努めました。	・妊産婦 ・乳幼児	市庁舎健康課 健康福祉会館	健康課
	母親学級	妊娠中の健康管理・栄養・お産の正しい知識・産後の注意・新生児の保育指導を行い、母子の健康増進を図りました。	妊婦と夫	健康福祉会館	健康課
	ママクラスクッキング	妊娠中の健康管理・正しい食生活の支援を行い、母子の健康増進を図りました。	妊婦	健康福祉会館	健康課
	母子保健訪問指導事業	健康相談や育児支援のために、家庭に訪問して支援を行いました。	・妊産婦 ・乳幼児	健康福祉会館 より各家庭へ	健康課
子ども生活部	プレママ&ベビママら一む	妊婦と新生児を持つ保護者の交流を楽しむとともに、出産後のイメージをもつこと、育児への不安を緩和することを目的に、スタイづくりやペットボトルを使ったおもちゃ作りなどを実施しました。(全3回)	・妊婦と夫 ・生後6ヶ月までの乳児とその保護者	子どもセンター ばあん	児童青少年課 子どもセンターばあん
生涯学習部	乳幼児を持つ保護者のための講座	日頃の子育てについて、同じ悩みを抱えている親が学習と話し合いを行い、子育てを楽しみながらできるようになることをねらいとした講座を実施しました。(第1弾:全8回、第2弾:全4回)	(乳幼児0歳児～2歳児)を持つ保護者	生涯学習センター	生涯学習センター
	親と子の交流ひろば きしゃポッポ	話し合いや参加型講習を中心に、孤立しがちな子育てを家族、地域で考え、仲間作りを図りました。(全34回実施)	・0歳児、1歳児とその保護者 ・妊婦	生涯学習センター	生涯学習センター
	親と子の交流ひろば パパと一緒にきしゃポッポ	主に父子を対象として、話し合いや参加型講習を中心に、孤立しがちな子育てを家族、地域で考え、仲間作りを図りました。(全11回実施)	・0歳児、1歳児とその保護者	生涯学習センター	生涯学習センター

◆Ⅱ-1-個別目標2 子育て期を支える

【個別目標の解説】

子育て中の親が孤立感を持たずに子育てをすることができるようにします。

【指標】

指標名	単位	2011年度 実績値	2012年度 実績値	2013年度 実績値	指標数値出典 (所管課)	備考
在宅家庭支援実施保育所数	園	25	27	29	子ども生活部 子育て支援課	保育所の「子育てひろば事業」と「つどいのひろば」事業の合計 ※中期経営計画指標
子ども家庭支援センターの相談件数(※)	件	1,062	1,121	1,811	子ども生活部 子育て支援課	※中期経営計画指標

※ 子ども家庭支援センターの相談件数の算定方法が2012年度から変更となりました。それに伴い、2011年度以前の数値については、新しい方法で集計した数値に修正しています。

健全育成事業

都および市の要綱に基づき支払事務を行う（都10/10補助）生活保護を受けている世帯の学童・児童に対し、学童服・運動衣、夏期休業中に行われる各種野外活動等の参加費用、中学卒業者の就職活動時の支度金、修学旅行に参加する費用を支給することにより、当該学童・児童の健全育成および、その者の属する世帯の自立助長を図りました。

担当：地域福祉部生活援護課

子どもセンターの子育て支援事業

各子どもセンターでは、乳幼児とその保護者を対象にしたキッズアタック（ばあん）、ぽっぴんたいむ（つるっこ）、ぱわぱふたいむ（ぱお）などの子育て支援の事業を実施しました。

担当：子ども生活部児童青少年課

病児・病後児保育

■病児保育

病気にかかっている児童を医師の指示に基づいて医療機関に併設した専用の施設で一時預かり保育を行いました（事前に利用登録が必要）。

■病後児保育

「病気回復期」にあり、医療機関による治療の必要はないが、安静の必要がある児童を保育所に併設した専用施設で一時預かり保育を行いました（事前に利用登録が必要）。

担当：子ども生活部子育て支援課

ショートステイ、トワイライトステイ

◇ショートステイ（原則として2歳～12歳）

保護者が疾病等の事由により、宿泊での養育を必要とする時に児童の食事その他身の回りの世話・生活指導等を行い、家庭的な環境で児童を短期間お預かりする事業です。

◇トワイライトステイ（原則として2歳～12歳）

保護者が社会的事由等により、帰宅が夜間に及ぶ時に児童の食事その他身の回りの世話・生活指導等を行い、夜10時までお預かりする事業です。

子ども家庭支援センター（☎724-4419）で利用相談を受け付けます。

担当：子ども生活部子育て支援課(子ども家庭支援センター)

子育て情報誌「のびっこ」

町田市の保育所・幼稚園、保健事業、手当・医療費助成制度、相談窓口、病院、公共施設などの子育て情報をまとめた冊子を作成し、「こんにちは赤ちゃん訪問事業」の訪問先や3・4ヶ月健康診査の時に健康課を通して配布しました。また、希望者に無償配布を行いました。

担当：子ども生活部子育て支援課

子育てひろば事業

在宅で子育てをされている家庭を対象に、市内保育所等を会場に、親子で遊びながら子育ての楽しさを感じたり、親同士・子ども同士の交流を深めたり、さまざまな情報交換ができる機会を提供しました。また、親子で同年齢のクラスに入り、保育所の生活を体験することができます（要予約・食事代）。食事・排泄・睡眠・言葉・遊び・友だち…子育てのことなら何でも相談を受け付けています。

担当:子ども生活部子育て支援課

子育てひろばカレンダー

「子育てひろばカレンダー」は、各保育所のいろいろなイベント情報等を市内5地域（南、町田、鶴川、堺、忠生）に分けて毎月紹介している情報誌です。掲載している保育所や各公共施設等で配布しています。また、町田市公式ホームページの「子育てひろばカレンダー」（下記 URL）からも閲覧できます。

http://www.city.machida.tokyo.jp/kodomo/sodan/hiroba_annail.html

担当:子ども生活部子育て支援課

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
いきいき健康部	結核児童の療育給付	結核に罹患した18歳未満の方に対し、入院医療に要する費用等を負担するものです。	結核に罹患し、入院を必要とする18歳未満の方	—	保健対策課 保健対策係
	3～4ヶ月児健康診査	各健診で乳幼児の健康増進、疾病の早期発見と保護者への育児支援を行いました。	該当する乳幼児	・健康福祉会館 ・鶴川分館 ・小山市民センター	健康課
	6～7ヶ月児健康診査	各健診で乳幼児の健康増進、疾病の早期発見と保護者への育児支援を行いました。	該当する乳幼児	契約医療機関	健康課
	9～10ヶ月児健康診査	各健診で乳幼児の健康増進、疾病の早期発見と保護者への育児支援を行いました。	該当する乳幼児	契約医療機関	健康課
	1歳6ヶ月児健康診査	各健診で乳幼児の健康増進、疾病の早期発見と保護者への育児支援を行いました。	該当する乳幼児	・健康福祉会館 ・鶴川分館 ・小山市民センター	健康課
	3歳児健康診査	各健診で乳幼児の健康増進、疾病の早期発見と保護者への育児支援を行いました。	該当する乳幼児	・健康福祉会館 ・鶴川分館 ・小山市民センター	健康課
	乳幼児経過観察健診	各健診で乳幼児の健康増進、疾病の早期発見と保護者への育児支援を行いました。	該当する乳幼児	健康福祉会館	健康課
	発達健康診査	各健診で乳幼児の健康増進、疾病の早期発見と保護者への育児支援を行いました。	該当する乳幼児	健康福祉会館	健康課
	妊婦・乳幼児精密健康診査	各健診で乳幼児の健康増進、疾病の早期発見と保護者への育児支援を行いました。	該当する妊婦と乳幼児	契約医療機関	健康課
	離乳食・幼児食講習会	母子の健康増進を図るために行いました。	該当する乳幼児とその保護者	健康福祉会館	健康課
	健康教育	母子の健康増進を図るために行いました。	該当する乳幼児とその保護者	市内	健康課

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
いきいき健康部	虫歯予防教室	虫歯予防の関心を高めるために行いました。	該当する乳幼児	健康福祉会館	健康課
	乳幼児栄養食品支給	母子の健康増進を図るために行いました。	該当する乳幼児	健康福祉会館	健康課
	予防接種	乳幼児の疾病の予防、まん延防止のため予防接種・予防接種助成を行いました。	該当する乳幼児	・健康福祉会館 ・市民センター ・指定医療機関	健康課
	未熟児養育医療	未熟児が満1歳児までに入院養育を必要とする場合、入院医療助成のための医療券の申請を受理し、保健所に進達しました。	2000g未満で出生した乳児等	・健康福祉会館 ・市庁舎健康課	健康課
子ども生活部	児童手当支給事業	中学校3年生修了までの児童を養育している保護者に手当を支給しました。	保護者の所得制限なし	—	子ども総務課 手当・医療費助成係
	乳幼児医療費助成事業	小学校就学前児童が健康保険で診療を受けたときの自己負担額を助成しました。	保護者の所得制限なし	—	子ども総務課 手当・医療費助成係
	義務教育就学児医療費助成事業	小学生、中学生が健康保険で診療を受けたときの自己負担額の一部を助成しました。	保護者の所得が限度額未満の者	—	子ども総務課 手当・医療費助成係
	小児慢性疾患の医療費助成	18歳未満の小児慢性対象疾患の健康保険診療による自己負担額の一部を助成しました。	—	—	子ども総務課 手当・医療費助成係
	幼児教育奨励事業	4歳～5歳児で無認可の幼児施設に通う幼児や在宅幼児の保護者に手当を支給しました。	—	—	子ども総務課 手当・医療費助成係
	幼稚園就園奨励事業	私立幼稚園に幼児を通園させている保護者に補助金を交付しました。	—	—	子ども総務課 手当・医療費助成係
	私立幼稚園等園児保護者保護事業	私立幼稚園に幼児を通園させている保護者に補助金を交付しました。	—	—	子ども総務課 手当・医療費助成係
	私立幼稚園等入園促進事業	私立幼稚園に入園した幼児の保護者に補助金を交付しました。	—	—	子ども総務課 手当・医療費助成係
	大気汚染医療費の助成	18歳未満で慢性気管支炎・気管支ぜん息・ぜん息性気管支炎・肺気腫およびこれらの続発症の治療に対し健康保険が適用された後の自己負担を助成しました。なお、気管支ぜん息については全年齢を対象としています。	・東京都内に引き続き1年以上(3歳児未満は6ヶ月以上)住所を有する方 ・申請日以降喫煙しない方 ・健康保険に加入されている方	—	子ども総務課 手当・医療費助成係
休日保育	年末・年始(12月29日～1月3日)を除く休日や祝日に仕事や介(看)護、または冠婚葬祭などの社会的理由で子どもの保育ができない場合に利用できるもの(事前に利用登録が必要)で、わかば保育園で実施しました。	・市内認可保育所園児 ・市内就学前児童	わかば保育園	子育て支援課	
生涯学習部	乳幼児を持つ保護者のための講座	日頃の子育てについて、同じ悩みを抱えている親が学習と話し合いを行い、子育てを楽しみながらできるようになることをねらいとした講座を実施しました。(第1弾:全8回、第2弾:全4回)	乳幼児(0歳児～2歳児)を持つ保護者	生涯学習センター	生涯学習センター
	幼児を持つ保護者のための講座	日頃の子育てについて、同じ悩みを抱えている親が学習と話し合いを行い、子育てを楽しみながらできるようになることをねらいとした講座を実施しました。(全4回)	幼児(3歳以上の未就学児)を持つ保護者	生涯学習センター	生涯学習センター
	小学生を持つ保護者のための講座	保護者自身が親の役割や、子どもの心の理解など家庭での教育について、講師の話や受講生同士の話し合いを通して考えを深めるとともに、保護者間の交流を通して仲間づくりをしていくことを目的とした講座を実施しました。(連続6回実施)	主に小学生を持つ保護者	生涯学習センター	生涯学習センター
	中学生をもつ保護者のための講座	現代の子どもが抱える問題を考えながら、思春期の子どもへの理解を深め、親子の関係について考えるきっかけをつくることを目的とした講座を実施しました。(連続5回実施)	主に中学生を持つ保護者	生涯学習センター	生涯学習センター
	「あかちゃんとのしむ絵本」事業	乳幼児におすすめの本をピックアップしたパンフレットを作成し、各図書館や母子バックに入れて配布しました。	—	—	図書館

◆Ⅱ-1-個別目標3 男女共同の子育てを進める

【個別目標の解説】

夫婦が協力して子育てできるようにします。

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
市民部	父子木工教室「お父さんと作ってみよう！木のおもちゃ」	親子での木工作業を通して、男性の育児参加への意識の促進を図ると共に、ワーク・ライフ・バランスの意識啓発も行いました。	・就学前児童と父親 ・小学1年生～小学3年生の児童と父親	市民フォーラム	市民協働推進課 男女平等推進センター
	父子料理教室「父子でパティシエ」	父子で調理することで、日ごろ子どもと触れ合う時間の少ない父親への子育て支援を行うと共に、男女共同の子育ての意識啓発を行いました。	5歳児から小学3年生までの子どもとその父親	市民フォーラム	市民協働推進課 男女平等推進センター
	パパ・ママのためのハンドセラピー	子どもとのコミュニケーションのきっかけになるハンドセラピーのコツを実践的に伝える体験型講座を実施しました。	幼児から思春期の子どもがいる保護者	市民フォーラム	市民協働推進課 男女平等推進センター
	哲学対話ワークショップ	「子どもをもつこと もたないこと」をテーマに、参加者が各々の経験や、人生観・家族観などを交えながら話し合いを実施しました。	—	市民フォーラム	市民協働推進課 男女平等推進センター
	男女平等フェスティバルメイン企画	ロック歌手のダイヤモンド☆ユカイさんをお招きして、男性の立場から不妊・子育てについて講演いただきました。	—	市民フォーラム	市民協働推進課 男女平等推進センター
	男女平等フェスティバル親子向け企画	「子どもミュージアム」、「変身ボックス&水切りキャンペーン」、「どうぶつ村の村長を決めよう」、「子どもセンターがやってきた」、「ひなた村木工教室」、など、親子で楽しめる事業を集め、子育て世代へ男女共同の意識啓発を実施しました。	親子	市民フォーラム	市民協働推進課 男女平等推進センター
いきいき健康部	両親学級	妊娠中の健康管理・栄養・お産の正しい知識・産後の注意・新生児の保育指導を行い、母子の健康増進を図りました。	妊婦と夫	健康福祉会館	健康課

◆Ⅱ-1-個別目標4 親の悩みを支える

【個別目標の解説】

子育て中の親が悩みや不安について身近な場所で気軽に相談できるようにします。

【指標】

指標名	単位	2011年度実績値	2012年度実績値	2013年度実績値	指標数値出典(所管課)	備考
育児について気軽に相談できる相手がいなかったと答えた保護者の割合	%	2.0	0.4	1.1	市民意識調査(政策経営部企画政策課)	—

子育て支援ネットワーク連絡会

児童虐待の発生予防から早期発見・対応、アフターケアに至るまでの総合的な支援を行うため福祉・医療・保健・教育・警察等の関係機関で構成されているネットワークです。関係機関と地域が一体となって、要保護児童等を支援するために、情報交換・支援の具体策の検討などを地域ごとに定期的に行いました。

担当：子ども生活部子育て支援課(子ども家庭支援センター)

健康課の相談事業（乳幼児・母性相談、来所相談、電話相談）

乳幼児とその保護者を対象に、発育・発達、育児方法や食事、虫歯予防、家族の健康について、関係する専門家による相談を行いました。

担当：いきいき健康部健康課

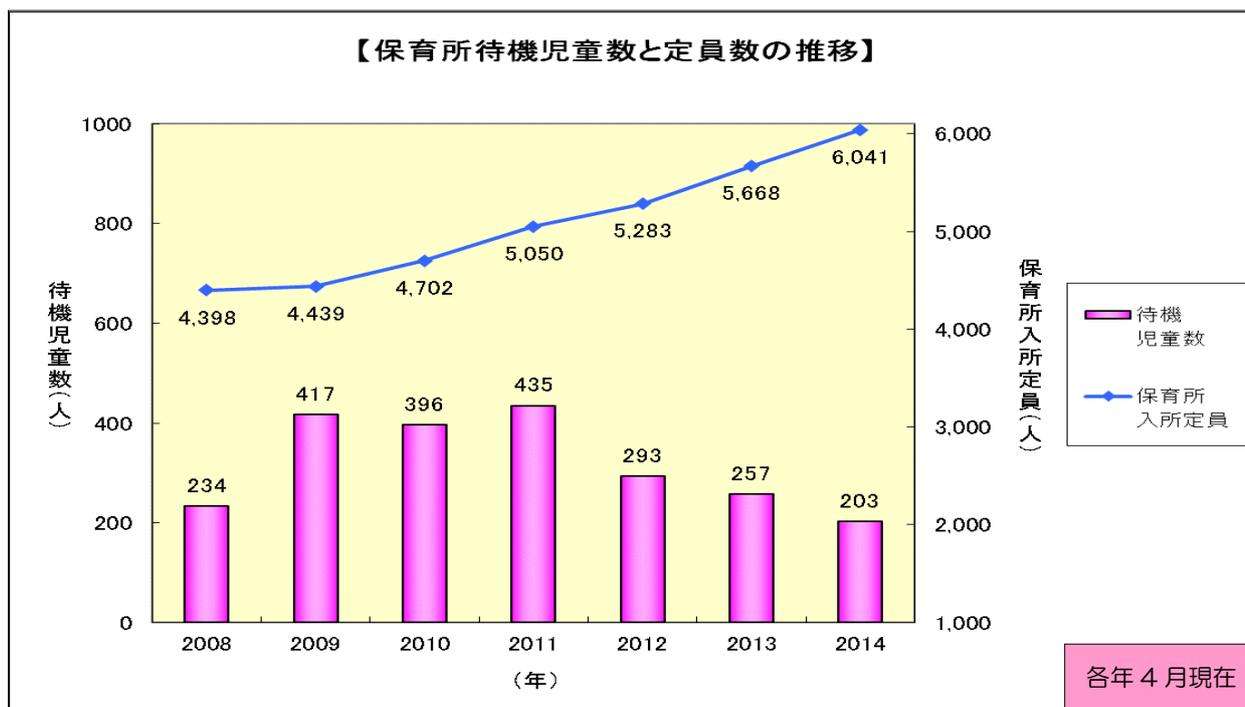
♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
子ども生活部	子育てママのしゃべり場	育児不安やストレスを抱えて悩んでいる人に、共感・共有の場を提供することで、様々な子育て支援につながり、虐待予防および育児不安の解消を図りました。	子育て中の母親	子ども家庭支援センター	子育て支援課 子ども家庭支援センター
	啓発冊子・ひとりで悩んでいませんか？	児童虐待の防止・予防のための啓発冊子を作成しました。	—	—	子育て支援課 子ども家庭支援センター
学校教育部	教育相談	教育相談は、来所相談、電話による相談、出張相談の3つの相談形態があります。不登校、集団不適応、友人関係、発達に関する事、学習に関する事、生活面に関する事、いじめ、体罰等、学校生活や家庭生活等に関する問題について相談に応じました。	幼児から18歳までの子どもと保護者、学校・保育園・幼稚園関係者	教育センター	教育センター
	就学・進学相談	小学校への就学、中学校への進学の際に、何らかの障がいのある子どものために、個々の特性に合わせた教育支援を保護者と共に考えました。就学相談会は17回、進学相談会は16回行いました。	2014年4月に就学、進学する児童の保護者	教育センター	教育センター

重点目標2 親が働くことを支える

【重点目標の解説】

子育て中の親が就労と子育てを両立できるようにします。



保育所の入所待機児の解消

町田市では、保育所待機児の解消が大きな課題となっています。待機児童数は、上の表【保育所待機児童数と定員数の推移】のように推移しています。町田市では、保育所（20年間期間限定認可保育所）の新規開設、既存の保育所の定員増などの施策を進めていますが、待機児童の解消には至っていません。

担当:子ども生活部子育て支援課

◆Ⅱ-2-個別目標1 保育支援

【個別目標の解説】

子育て中の親が子どもを預ける様々な保育サービスを選択することができ、安心して働くことができるようにします。

【指標】

指標名	単位	2011年度 実績値	2012年度 実績値	2013年度 実績値	指標数値出典 (所管課)	備考
保育所待機児童数	人	435	293	257	子ども生活部 子育て支援課	各年度4月現在
保育所定員数	人	5,050	5,283	5,668		
認可外保育施設入所児童数	人	334	369	366		
預かり保育実施幼稚園数	園	11	14	14		—
ファミリー・サポート・センター利用件数	件	12,543	12,284	10,315		—
小学校区に対する学童保育クラブ設置数	箇所	43/42	43/42	43/42	子ども生活部 児童青少年課	—

一時保育事業

冠婚葬祭等の急な用事、保護者・家族の入院・通院・介護等で家庭での保育ができない、リフレッシュに時間がほしい等の理由により、一時的に保育することが困難な時に児童を保育所で預かりました（事前に利用登録が必要）。

担当:子ども生活部子育て支援課

定期利用保育事業

認可保育所の入園の要件（週3日以上でかつ4時間以上児童の保育が出来ない）には満たないが、定期的に児童の保育が出来ないといった需要に対応する事業で、2012年11月から事業を開始しました。

担当:子ども生活部子育て支援課

年末保育

12月29日、30日に保護者が就労のために保育が必要な乳幼児を預かる事業で、市立保育所2園で実施しました。

担当:子ども生活部子育て支援課

ファミリー・サポート・センター事業

子育てを支援するための「育児援助を受けたい者（依頼会員）」と「育児援助を行ないたい者（援助会員）」との相互援助活動を行う会員組織です。保育所・幼稚園の開始前または終了後の保育、保育所・幼稚園等への送迎、その他、子育てのための必要な援助（保育）等の補助的、臨時的な活動を行いました。

担当:子ども生活部子育て支援課

学童保育クラブ

仕事をしているなどの理由で保護者が日中不在となる、市内に在住する小学校1年生から3年生（ただし、障がいのある児童について、市長が特に必要と認めたときは6年生）までの児童を預かり、保育しました。

担当:子ども生活部児童青少年課

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

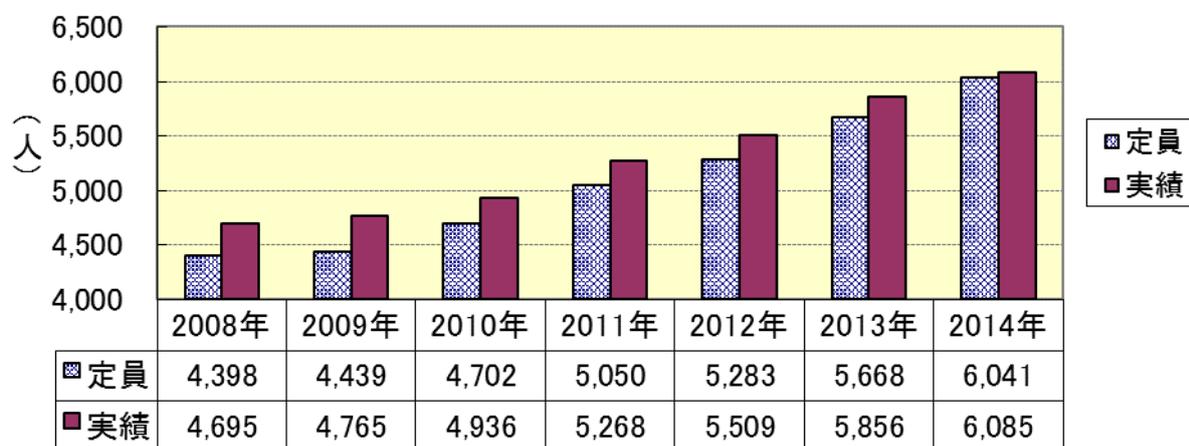
部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
子ども生活部	私立幼稚園の預かり保育事業への補助【再掲】	幼稚園の「預かり保育」は、通常の教育課程に係る教育時間の前後や長期休業期間(春・夏・冬休み)などに、幼稚園に在園児の保護者の要請に応じて、子どもを預かるものです。幼稚園に在園している保護者の就労形態の多様化等に伴い、「預かり保育」へのニーズが高まっています。町田市では、教育時間および預かり保育時間を合計して8時間以上、通年で開園する等の市が定める一定の条件を満たす預かり保育を実施している園に対し、事業費の補助を行いました。	市内幼稚園 在園児	—	子育て支援課

【認可保育所在籍児童数の推移】（各年度4月1日現在）（単位：人／％）

区分	年度	定員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	入園割合
法人立	2008	3,633	353	566	690	755	774	765	3,903	107.4%
	2009	3,674	366	585	692	753	787	794	3,977	108.2%
	2010	3,927	394	628	759	781	758	800	4,120	104.9%
	2011	4,245	406	683	836	883	838	818	4,464	105.2%
	2012	4,618	443	762	931	904	944	866	4,850	105.0%
	2013	5,003	461	816	990	1,022	974	966	5,229	104.5%
	2014	5,514	465	889	1,067	1,069	1,087	1,001	5,578	101.2%
公立	2008	765	33	91	122	159	187	200	792	103.5%
	2009	765	33	88	119	164	189	195	788	103.0%
	2010	775	35	92	124	162	180	196	789	101.8%
	2011	805	39	100	138	170	179	178	804	99.9%
	2012	665※	33	73	103	134	159	157	659	99.1%
	2013	665	32	72	99	137	133	154	627	94.3%
	2014	527※	31	66	84	107	109	110	507	96.2%
合計	2008	4,398	386	657	812	914	961	965	4,695	106.8%
	2009	4,439	399	673	811	917	976	989	4,765	107.3%
	2010	4,702	429	720	883	943	965	996	4,936	105.0%
	2011	5,050	445	783	974	1,053	1,017	996	5,268	104.3%
	2012	5,283	476	835	1,034	1,038	1,103	1,023	5,509	104.2%
	2013	5,668	493	888	1,089	1,159	1,107	1,120	5,856	103.3%
	2014	6,041	496	955	1,151	1,176	1,196	1,111	6,085	100.7%

※ 公立保育所を2012年度に2園、2014年度に2園、民営化したため、公立保育所の定員数が減少しています。

【認可保育所在籍児童数の推移】



【学童保育クラブ入会児童数の推移】（各年度4月1日現在）（単位：箇所／人）

年 度	町田市		社会福祉協議会		その他法人		合計	
	クラブ数	児童数	クラブ数	児童数	クラブ数	児童数	クラブ数	児童数
2008	6	446	13	886	20	1,434	39	2,766
2009	6	424	13	909	24	1,553	42	2,886
2010	6	375	13	905	24	1,574	43	2,854
2011	6	385	13	920	24	1,616	43	2,921
2012	6	389	13	903	24	1,645	43	2,937
2013	5	325	13	934	25	1,787	43	3,046
2014	5	351	13	945	25	1,932	43	3,228

【学童保育クラブ数と入会児童数の推移】



◆Ⅱ-2-個別目標2 サービスの質の向上と効果的・効率的な提供の充実

【個別目標の解説】

- ① 保育施設がサービスの質の向上と外部評価の受診を行い、その結果が利用者に提供されるようにします。

部 名	事業名	事業の概要	対 象	実施場所	所管課・係
子ども生活部	定期利用保育事業 【再掲】	認可保育所の入園の要件(週3日以上かつ4時間以上児童の保育が出来ない)には満たないが、定期的に児童の保育が出来ないといった需要に対応する事業で、2012年11月から事業を開始しました。	就学前児童	市内保育所	子育て支援課

重点目標3 きめ細やかな支援が必要な家族を支える

【重点目標の解説】

きめ細やかな支援が必要な子どもと家族が必要な支援を必要な時に受けることができるようにします。

◆II-3-個別目標1 障がいのある子どもと家族への支援

【個別目標の解説】

障がいのある子どもと家族がいろいろな生活の場面で必要な支援を受けることができるようにします。

【指標】

指標名	単位	2011年度 実績値	2012年度 実績値	2013年度 実績値	指標数値出典 (所管課)	備考
障がい児通園促進事業の対象となった 幼稚園児数(のべ)	人	1,444	1,494	1,777	子ども生活部 子育て支援課	—

障がい児の幼稚園通園の促進

医療機関等で特別な配慮・個別的な配慮を必要とするとの診断を受けた児童を受け入れている市内の私立幼稚園に対し、受入の人数に応じて経費の一部を市が負担しました。

担当:子ども生活部子育て支援課

子ども発達センターすみれ教室

すみれ教室は、発達に遅れや心配のある就学前の乳幼児に対して、専門的な指導により、身体的・精神的な発達を助長し、基本的な生活習慣、社会への適応を図ることと、その保護者を支援することを目的としています。

その沿革は、1971年8月、心や身体にハンディキャップのある乳幼児の保護者から「市内に心身障がい児のための生活並びに訓練の場を作って欲しい」との切実な願いがきっかけとなって、同年12月「町田市心身障害児を守る会(すみれ会)」の結成と同時に、市から福祉会館の一室と機械器具の提供を受けて保護者運営の教室「すみれ教室」としてスタートし、障がいのある子どもを持つ親同士の連帯をつくる場としての役割をも果たしてきました。

その後、すみれ会から「未就学児の唯一の施設であるため一層の発展を」との要望を受け、1972年8月、旧さるびあ図書館を改造、移転。1972年10月に町田市療育機関として位置づけられ、職員と施設の充実を図り、1983年4月の「すみれ会館」の完成により全面移転し、親子通園施設として今日に至っています。

この約40年の間に、通園児の増加・低年齢化・幼稚園や保育所の受け入れの拡大、相談部門のニーズの増加などに対し、教室の規模は大きくなりサービス内容も多様になってきました。2004年4月には、事業の一部を定員40名の措置通園部門(児童福祉法第7条に定める知的障害児通園施設)として開設し、施設の名称も「町田市子ども発達センターすみれ教室」と改めました。

障害者自立支援法の施行に伴い、2006年10月に児童福祉法が改正され、措置制度から契約方式に変わりました。これに伴い、当センターの措置通園部門も認可通園部門へ呼称を変更しました。認可通園部門の知的障害児通園施設は、児童福祉法の改正により、2012年4月から児童発達支援センターになっています。

◇所在地 町田市中町2-13-14

担当:子ども生活部すみれ教室

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
地域福祉部	障害児福祉手当	20歳未満で身体または精神に重度の障がいがあるため、日常生活に常時介護が必要な人に支給しました。	20歳未満で身体または精神に重度の障がいのある方	—	障がい福祉課 障がい総務係
	特別児童扶養手当	日常生活に著しい制限を受ける20歳未満の障がい児を養育している人に支給しました。	20歳未満で、日常生活に著しい制限を受ける障がい児を養育している方	—	障がい福祉課 障がい総務係
	重度心身障害者手当	常時複雑な介護を必要とする障がい児、障がい者に対し支給しました。	常時複雑な介護を必要とする障がい児、障がい者	—	障がい福祉課 障がい総務係
	障がい児スポーツ教室	障がいのある小学生以上の方を対象に、年間36回程度スポーツ教室を開催しました。	小学生以上の障がいのある方	・サン町田旭体育館 ・すみれ教室	障がい福祉課 障がい総務係
	障がい児者水泳教室	障がいのある小学生以上の方を対象に、夏休みの期間に水泳教室を開催しました。	小学生以上の障がいのある方	すみれ教室	障がい福祉課 障がい総務係
	障がい者スポーツ大会	11月3日に、市内の障がいのある方を対象に、スポーツ大会を開催しました。	障がいのある方	町田市立総合体育館	障がい福祉課 障がい総務係
子ども生活部	自立支援医療(育成医療)	18歳未満の肢体不自由等の機能障がいのある方で、手術等により障がいの改善が見込まれる場合の健康保険で診療を受けたときの自己負担額の一部を助成しました。	—	—	子ども総務課 手当・医療費助成係
	児童育成手当(障がい手当)	脳性麻痺/進行性筋萎縮症、最重度～中度の知的障がい、2級以上の身体障がい等の障がいをもつ20歳未満の児童を養育している人に支給しました。	・児童が施設に入所していないこと ・所得限度額を超えていないこと	—	子ども総務課 手当・医療費助成係
	療育指導	心身の発達に遅れやその心配のある乳幼児を持つ保護者からの相談を受け、発達を促すための指導・助言を行いました。	0歳児～6歳児までの就学前児童	すみれ教室	すみれ教室
	保護者研修	現在利用している子の保護者を対象に子どもの発達に関することから就学後のことを学び考えるための研修を実施しました。	利用者の保護者	すみれ教室	すみれ教室
	療育セミナー	幼稚園・保育園・学童保育クラブなど機関の職員に、障がいに対する理解や援助の方法を学ぶための講演会を開催しました。	幼稚園・保育園・学童保育クラブなどの機関の職員	すみれ教室	すみれ教室
	出張相談(訪問相談)	町田市内の保育園に直接出向き、発達に心配のある子どもの集団での様子を捉え、対応等助言を行いました。	保育園	保育園	すみれ教室
	出張相談(地域ケース検討会)	児童精神科医師を助言者として市内5地域において事例の検討会を行い、職員や園の対応の仕方について検討会を実施しました。	保育園・幼稚園	・各市民センター ・すみれ教室	すみれ教室
	療育体験会	町田市内の保育園職員を対象に一日療育体験を行いました。	保育園職員	すみれ教室	すみれ教室
学校教育部	教育相談	教育相談は、来所相談、電話による相談、出張相談の3つの相談形態があります。不登校、集団不応、友人関係、発達に関する事、学習に関する事、生活面に関する事、いじめ、体罰等、学校生活や家庭生活等に関する問題について相談に応じました。	幼児から18歳までの子どもと保護者、学校・保育園・幼稚園関係者	教育センター	教育センター

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
学校教育部	就学・進学相談	小学校への就学、中学校への進学の際に、何らかの障がいのある子どものために、個々の特性に合わせた教育支援を保護者と共に考えました。就学相談会は17回、進学相談会は16回行いました。	2014年4月に就学、進学する児童の保護者	教育センター	教育センター
生涯学習部	点字・音訳テープ	視覚に障がいのある子どもの読書のため、または視覚障がいの親が子どもに読み聞かせができるようにするため、ご希望の本を点訳、音訳し、提供しました。2013年度実績：絵本に点字や毛糸を貼って、触って読める絵本を106冊貸出しました。	町田市在住・在学・在勤の方	中央図書館	図書館

【 すみれ教室通園児童数の推移 】

(単位：人)

年度	親子通園部門	相談部門	認可通園部門
2009	142	543	40
2010	133	582	40
2011	129	674	40
2012	161	755	40
2013	157	854	40

◆Ⅱ-3-個別目標2 ひとり親家庭への支援

【 個別目標の解説 】

ひとり親家族が自立し、経済的な不安を持つことなく生活や子育てをすることができるようにします。

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
子ども生活部	ひとり親家庭等医療費助成制度	平成7年4月2日以降に生まれた(一定の障がいのある場合は20歳の誕生日の前日までの)児童を養育しているひとり親家庭、または父か母が重度の障がいを持つ家庭に対して、保険の自己負担分の医療費を助成しました。	・生活保護を受けていないこと ・所得限度額をこえていないこと	—	子ども総務課 手当・医療費助成係
	児童育成手当(育成手当)	平成7年4月2日以降に生まれた児童を養育しているひとり親家庭、または父か母が重度の障がいを持つ家庭に対して、手当を支給しました。	・児童が施設に入所していないこと ・所得限度額を超えていないこと	—	子ども総務課 手当・医療費助成係
	児童扶養手当	平成7年4月2日以降に生まれた(一定の障がいのある場合は20歳の誕生日の前日の属する月までの)児童を養育しているひとり親家庭に対して、手当を支給しました。	・公的年金を受けていないこと ・児童が施設に入所していないこと ・所得限度額を超えていないこと	—	子ども総務課 手当・医療費助成係

◆Ⅱ-3-個別目標3 外国籍家族への支援

【 個別目標の解説 】

外国籍家族が言語・文化の違いやコミュニケーション不足についての不安を持つことなく生活や子育てをすることができるようにします。

◆Ⅱ-3-個別目標4 被虐待児(DV家族児童を含む)と家族への支援

【個別目標の解説】

虐待を受けた子どもと子どもを虐待した家族が立ち直るための支援を受けることができるようにします。

子ども家庭支援センター

子どもや家庭の問題に総合的に対応する相談機関です。0歳から18歳未満のお子さんとその家庭のあらゆる相談に応じます。児童虐待をはじめとする子どもを取り巻く様々な問題に対処するため、関係機関や地域と緊密な連携をとりながら子育てを支援しています。ショートステイ、トワイライトステイ、育児支援ヘルパー派遣等のサービスを行っています。

担当：子ども生活部子育て支援課(子ども家庭支援センター)

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
子ども生活部	各種リーフレット配布	虐待の相談として、各種リーフレットを配布し、相談窓口の周知を図りました。	—	—	子育て支援課 子ども家庭支援センター

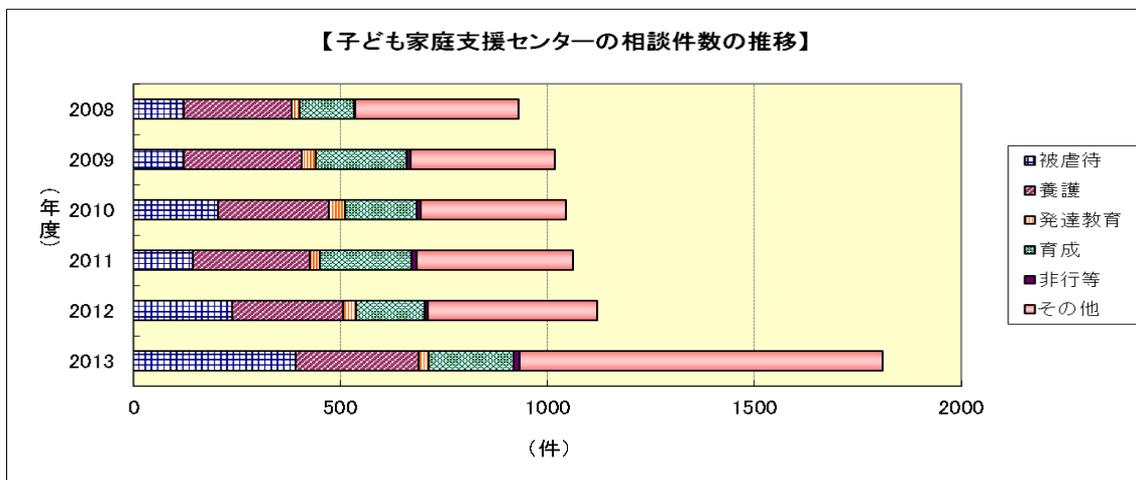
【子ども家庭支援センターの相談件数の推移】

(単位：件)

年度	被虐待	養護	発達発育	育成	非行等	その他	合計
2008	122	261	19	131	3	394	930
2009	120	287	33	220	10	348	1,018
2010	205	268	39	172	10	351	1,045
2011	142	284	23	224	10	379	1,062
2012	238	267	32	166	8	410	1,121
2013	391	298	24	205	14	879	1,811

※ 2012年度から、その他の集計方法を変更しました。それに伴い、2011年度以前の数値については、新しい方法で集計した数値に修正しています。

※ 相談件数には電話相談を含みます。



◎基本目標Ⅲ 子どもが地域の中で大切にされている

■重点目標1 人と人が関わりつなげる場をつくる(家庭・施設・学校・地域・行政の協働)

【重点目標の解説】

- ① 子育てをしている親と地域の人が、子どもは地域の支えあいの中で育つということを理解できるようにします。
- ② 子どもと子育てをしている家族が地域の人と絆を深めることができるようにします。

◆Ⅲ-1-個別目標1 地域の人材育成と人材活用

【個別目標の解説】

青少年活動を指導することのできる大人と子どもが地域で育ち、地域で青少年を対象とした活動が活発に行われるようにします。

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
子ども生活部	ひなた村まつり	市内の社会教育団体、ボーイスカウト、福祉団体などに協力いただき、ひなた村で活動している子どもたちや利用団体の成果の発表の場として春と秋に開催しました。成果発表のほか遊び、工作などで訪れた方に一日ひなた村で楽しんでいただきました。	—	ひなた村	ひなた村
	木楽(きらく)に木育(もくいく)	成人・親子を対象とした子ども向けの木製おもちゃ作り講習会を実施しました。地域の大人と子どもが助け合いながら一緒におもちゃ作りを行いました。	小学生以上 (小学2年生以下は保護者同伴)	ひなた村	ひなた村
建設部	アダプト・ア・ロード事業	市が管理する道路を、市民の皆さんの手でより良い空間にしようとする事業で、市と協定を結んだ地域団体が、ボランティアで管理活動を行います。この地域団体の中に中学校や高等学校があり、市内の中高生が道路用地での園芸活動等を行っています。	・中学生 ・高校生	—	道路管理課 市民協働担当
生涯学習部	まちだ市民大学講座事業 現代人間事情講座	「現代人間事情講座」第7回で「フリースクールという可能性—居場所から巣立ちへ—」をテーマに、子どもを取り巻く環境と居場所づくりの実践について、NPO 法人越谷らご理事長の増田良枝氏による講義を開催しました。	町田市在住 ・在学・在勤の方	生涯学習センター	生涯学習センター

◆Ⅲ-1-個別目標2 地元事業所・商店の関わり

【個別目標の解説】

子どもや親が地元事業所・商店会・商店を利用した子育て支援を受けることができるようにします。

子どもセンターばあんの「子どもまつり」

子どもセンターばあんでは、子どもまつりとして「たんじょう祭」「夏まつり」「冬まつり」(3大祭りと呼んでいます)を毎年行っています。このおまつりは、子ども委員会、運営委員会をはじめ、自治会・民生委員・「ばあんの会」等地域の方々との協働による、地域のイベントとして実施しました。

担当:子ども生活部児童青少年課(子どもセンターばあん)

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
生涯学習部	夏休み青少年映画会	夏休み子どもフェアの一環として「クラブアート～闇の魔法学校～」を上映しました。	・小学生 ・中学生 ・高校生	中央図書館	図書館

◆Ⅲ-1-個別目標3 体験できる場(多様な体験ができる機会を増やす)

【個別目標の解説】

子どもが様々な体験や人との関わりから学び成長していくことができるようにします。

【指標】

指標名	単位	2011年度 実績値	2012年度 実績値	2013年度 実績値	指標数値出典 (所管課)	備考
冒険遊び場の数	箇所	6 (うち出前3)	8 (うち出前5)	8 (うち出前3)	子ども生活部 児童青少年課	—
自分の子どもが野外活動やボランティアの活動に参加した保護者の割合	%	39.1	28.1	30.8	市民意識調査 (政策経営部企画政策課)	—

多摩・島しょ広域連携活動助成金事業

多摩・島しょ広域連携活動助成金を活用した町田市・多摩市・稲城市の連携による事業。

■科学の世界に触れてみよう！1日子ども科学館

子どもたちが、「科学」について興味や関心が持てるよう、身近な物などを使った科学実験を行うサイエンスショーを実施しました。また、観るだけでなく、子どもたちが実際に体験する科学実験教室を近隣大学3校と連携して実施しました。

■タケカワユキヒデと歌おう！おもしろ音楽会2

子どもたちが、「音楽」について興味や関心が持てるよう、プロの歌手やオーケストラの子ども向けコンサートを実施しました。また、聴くだけでなく、子どもたちが実際にプロの音楽家や参加する子ども同士一緒に練習し、コンサートホールの舞台上で観客を前に合唱を披露する音楽会を実施しました。

担当:子ども生活部子ども総務課

冒険遊び場への補助

冒険遊び場活動を行う団体に補助金を交付し、その活動を支援しました。2013年度は、「子ども広場 あそべどもたち」、「野津田・雑木林の会 きつねはらっぱ冒険遊び」、「相原冒険遊びの会」の3団体に補助金を交付しました。

【用語解説：冒険遊び場】

落ち葉などの自然の素材を使って、子どもが「遊び」をつくる遊びの拠点です。地域の人たちが中心となって運営し、全国で200ヶ所以上開催されています。

担当:子ども生活部児童青少年課

中学2年生の職場体験

総合学習の中で、事前に派遣先の事業所について調べ学習を行い、5日間就労体験をしました。体験後、事業所へのお礼の文書および報告書を作成しました。

担当: 学校教育部指導課

夏休み子どもフェア

小学生以下の子どもを対象に、保護者とともに生涯学習センターに足を運んでもらい、町田市の各地域で活動している方の活動内容を知るきっかけとすることや、親子の絆を深めることを目的として開催しました。また、今まで生涯学習センターを利用したことのない世代への周知を図りました。

- ◇昔遊び ◇マジック ◇夏休み新聞づくり ◇アート体験 ◇インドの楽器づくり
- ◇科学実験 ◇防犯クイズ ◇エコレンジャー ◇星空教室&コンサート ほか

担当: 生涯学習部生涯学習センター

「きのこ×文学ワンダー・ランド～きのこ文学の森にようこそ!～」展 関連事業

展示関連事業として、主に小学生を対象に下記の事業を実施しました。

- ◇「おはなしづくりにチャレンジ!」
- ◇「ことばらんど探検隊! きのこの秘密を探れ!」
- ◇「きのこ×文学×クッキング」
- ◇「きのこDEアート」
- ◇「きのこであそぼ! しかけ絵本づくり」

担当: 生涯学習部図書館(文学館)

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
子ども生活部	アウトドア'S	野外に飛び出しキャンプや長距離ハイクに挑戦しました。「アドベンチャーキャンプ」「サマーキャンプ」「焚き火でおやつ作り」「火のキャンプ」(全6回実施)	小学生～18歳	市内・市外	児童青少年課 子どもセンターつるっこ
	町田市一周78kmチャレンジハイク	2泊3日かけて、町田市一周78kmを一周するチャレンジプログラムを行いました。子どもたちは、町全体を感じながら、グループで協力し、達成する喜びと満足感・自信を得ることができました。	小学5年生～18歳	市内	児童青少年課 子どもセンターつるっこ
	プログラムサービス	地域の子ども会を主な対象とし、野外炊飯・工作・遊びなどを、子ども会と職員とが協力してプログラム作りを行い、実施しました。夏休みには夜間にキャンプファイヤーも実施しました。	子ども会等の団体	ひなた村ほか	ひなた村

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
子ども生活部	フレッシュコンサート	玉川大学吹奏楽団の協力のもと、市内の小学生～高校生の部活動の発表の場として開催している音楽会です。出演者自らが運営・進行を行うことにより自主性を育てるとともに、他校との演奏交流による相互成長を目的としています。	・小学生 ・中学生 ・高校生	ひなた村	ひなた村
	オータムウインドコンサート	東京都吹奏楽コンクールにて金賞を受賞した忠生中学校吹奏楽部と玉川大学吹奏楽団による、吹奏楽のコンサートを実施しました。	—	ひなた村ほか	ひなた村
	ウィーン・ラズモフスキー弦楽四重奏団 ひなた村公演	ウィーン・ラズモフスキー弦楽四重奏団とブラームス国際音楽コンクールピアノ部門第2位の黒田佳奈子さんを迎えて、コンサートを実施。世界レベルの音楽にひなた村で触れる機会をつくりました。	—	ひなた村	ひなた村
	ひなた村劇団	「初心者演劇教室」修了生からなる劇団でひなた村を中心に自主的に活動しています。「初心者演劇教室」受講生との公演のほか、市内の老人施設等で訪問公演を行いました。	「初心者演劇教室」修了者	ひなた村ほか	ひなた村
	キンボールフォローアップ	「巨大ボールでゲームをしよう」修了生を対象に、キンボールの審判が可能になるレベルへの技術の向上を目指し、自主的に練習を行いました。	「巨大ボールでゲームをしよう」修了者	ひなた村	ひなた村
	メリーゴーランド	「一輪車でスイスイスイ」修了生を対象に、さらにステップアップした技の習得を目指し自主的に練習を実施しました。「ひなた村祭」でその成果を披露しました。	「一輪車でスイスイスイ」修了者	ひなた村	ひなた村
	ひなた村シアター	毎月1回、誰でも参加可能な子ども向け映画の上映を行いました。	—	ひなた村	ひなた村
学校教育部	小学校音楽鑑賞教室	2005年度より実施。音楽の授業の一環として3日間6回、小学校6年生の児童を対象にプロのオーケストラの演奏を鑑賞しました。	市立小学校に通う児童	町田市民ホール	指導課管理係
生涯学習部	こどもえいが会	本に親しみを持ってもらうため、映画を上映し、その関連する本を紹介しました。	幼児～小学生	・中央図書館 ・木曾山崎図書館 ・堺図書館	図書館
	にんきものをさがせ	こどものひろばの書架に、本に出てくるキャラクターに関する問題を設置し、答えを本から探し出すウォークラリークイズ。年に3回、夏休み・春休み・冬休みにあわせて実施しました。	幼児～小学生	中央図書館	図書館
	よんだことをえにしちや	本を読んで感じたことを絵にしてみた読書感想画展。夏休みに作品を募集し、秋に中央図書館こどものひろばの壁面に作品を展示した。	幼児～小学生	中央図書館	図書館
	ブックトーク	それぞれ設定したテーマにあわせて、絵本・物語・知識の本を紹介しました。	幼児～小学生	・中央図書館 ・さるびあ図書館 ・鶴川図書館 ・金森図書館 ・木曾山崎図書館 ・鶴川駅前図書館	図書館
	1日図書館員	夏休み期間中に、希望者に図書館業務を1日体験してもらいました。本の配架、カウンター業務、本の装備などを体験しました。	・中学生 ・高校生	中央図書館	図書館
	子ども俳句教室 春秋	日本の伝統文化である俳句に親しんでもらいながら、5・7・5のこぼ遊びを楽しみました。	小学生	尾根緑道、小山田緑地、寺家ふるさと村、七国山、忠生公園、薬師池公園	図書館(文学館)

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
生涯学習部	トレーシングペーパーでつくるスクラッチの暑中見舞いはがき	トレーシングペーパーにより暑中見舞いの絵はがきを作成しました。	・小学生 ・中学生	文学館	図書館(文学館)
	子ども年賀状教室	来年の干支である巳を題材に年賀状を作成しました。	・小学生 ・中学生	文学館	図書館(文学館)
	太筆で書く! ダイナミック書初め大会	1m四方の大きな紙に、好きな文字一文字を思いを込めて書きました。	・小学生 ・中学生	文学館	図書館(文学館)
	初めての人の百人一首カルタ教室	初心者向けに日本の伝統カルタ、百人一首を楽しみました。	・小学生 ・中学生	文学館	図書館(文学館)

◆Ⅲ-1-個別目標4 交流できる場(子どもや子育てをしている人がふれあい情報交換できる場を増やす)

【個別目標の解説】

- ① 子どもや子どもを持つ親が身近な場所で様々な人と気軽に交流することができるようにします。
- ② 子どもが身近な場所で気兼ねなく時間を過ごすことができるようにします。

【指標】

指標名	単位	2011年度実績値	2012年度実績値	2013年度実績値	指標数値出典(所管課)	備考
子どもセンターの施設数	館	3	3	4	子ども生活部 児童青少年課	—
子どもセンター・子どもクラブの1日平均来館者数	人	839	873	1,304	子ども生活部 児童青少年課	子どもセンターばあん、子どもセンターつるっこ、子どもセンターばお、南大谷子どもクラブ、玉川学園ころころ児童館の5館の合計を開館日数で割ったもの
地域子ども教室助成団体数	団体	13	16	17	子ども生活部 児童青少年課	—

地域子ども教室

国(文部科学省)が、地域の「子どもの居場所」づくりのために2004年度から2006年度まで実施し、2007年度からは市が助成している事業です。学校の校庭や教室を使い、地域の方がスタッフとなって、各地域の教室で様々なプログラムを行いました。

担当:子ども生活部児童青少年課

子どもセンター・子どもクラブ

「子どもの成長・発達を促す遊びの拠点」と「核家族化・少子化が進むなかでの子育て支援」を理念として、1999年5月子どもセンター「ばあん」がオープン。2000年1月に「南大谷子どもクラブ」、2003年4月に「玉川学園子どもクラブころころ児童館」、2005年4月子どもセンター「つるっこ」、2009年4月子どもセンター「ばお」、2014年1月子どもセンター「ただON」がオープンしました。乳幼児から高校生までが集える場として、来館者は「けがと弁当は自分持ち」の精神で、自分の責任で利用しています。市内に5館を目標に子どもセンターの整備を進めており、現在は町田地区の子どもセンターの整備について進めています。

担当:子ども生活部児童青少年課

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
子ども生活部	ふれあい活動「大人も子どももみんなで遊ぼう」	青少年健全育成鶴川第三地区委員会主催のふれあい活動で、昔遊び、レクゲーム、こうさくコーナーなどを行いました。	幼児～市民	市内	児童青少年課 子どもセンターつるっこ
	森野学童保育クラブ親子あそび「ぴよんぴよんクラブ」	学童保育クラブを開放し、乳幼児親子に居場所を提供しました。また、プログラムサービスを行い、子育ての楽しさを味わったり、利用者同士の交流を深めることも目的とします。(全31回実施)	就学前児童とその保護者	森野学童保育クラブ	児童青少年課
	子育て支援事業「親子でおいもほり」	自然とのふれあい(芋ほり体験)を親子で体験する中で、親子同士の交流を図るために実施しました。	2歳以上の幼児とその保護者	近隣の畑	児童青少年課 子どもセンターばあん
	プレママ&ベビママ一む	妊婦と新生児を持つ保護者の交流を楽しむとともに、出産後のイメージを持つこと、育児への不安を緩和することを目的にスタイづくりやベットのボルトを使ったおもちゃ作りなどを実施しました。(全3回)	・妊婦と夫 ・生後6ヶ月までの乳児とその保護者	子どもセンターばあん	児童青少年課 子どもセンターばあん
	チビッコあそび隊 in 忠生	子どもセンターがない地域に子どもセンターの遊びを紹介する出張事業を実施しました。(全3回)	就学前児童とその保護者	忠生市民センター	児童青少年課 子どもセンターただON
	ばわばふたいむ in 小山	子どもセンターが遠く、利用できない親子の子育て支援事業として出張事業を行いました。(全9回)	就学前児童とその保護者	小山市民センター	児童青少年課 子どもセンターばあ
	げんきっず	乳幼児と保護者の交流と遊びの場の提供を目的に毎週木曜日に開催。親子体操、手遊びや体遊び、工作等を行いました。	就学前児童とその保護者	ひなた村	ひなた村
	親子ルーム開放	開館日の午前9時から午後5時まで、就学前児童とその保護者を対象に親子の遊び場・交流の場として、レクリエーションルームを開放しています。	就学前児童とその保護者	ひなた村	ひなた村
生涯学習部	おはなし会(乳幼児向け)	乳幼児とその保護者に本および図書館に親しみをもってもらうため、絵本、手遊び、わらべうたを行いました。	就学前児童とその保護者	各図書館	図書館
	保育室文学サロントーク「ちんぷいぶい」	「小さくたって文学(ことば)大好き!」をキャッチフレーズに、わらべ歌や絵本の読み聞かせ等を通して、ことばを楽しむ活動をボランティアの協力を得て実施しました。親子交流の時間を設けることで、親にとって安心できる場になるとともに、家庭に絵本をつなげる場となりました。	0歳～1歳児とその保護者	文学館	図書館(文学館)

◆Ⅲ-1-個別目標5 子どもセンター・地域子育てセンターを中心とした地域づくり

【 個別目標の解説 】

子どもセンター・地域子育てセンターが地域の子どもの様々な活動の中心として動くことができるようにします。

地域子育てセンター事業

市立の7保育所で、育児講座やイベントの実施や、育児相談を行いました。地域の子育てに関する相談等に応じ、保護者の子育てに関する不安の解消を図りました。また、子育てサークルの場を提供したり、サークル活動に保育士を派遣したりする等の専門知識を活かした事業を行いました。

- ・原町田地域子育てセンター(市立町田保育園)
- ・南地域地域子育てセンター(市立金森保育園)
- ・本町田地域子育てセンター(市立本町田保育園)
- ・鶴川地域子育てセンター(市立大蔵保育園)
- ・森野地域子育てセンター(市立森野保育園)
- ・忠生地域子育てセンター(市立山崎保育園)
- ・堺地域子育てセンター(市立こうさぎ保育園)

※ なお、2014年度から地域子育てセンターは地域子育て相談センターとなりました。また、森野地域子育てセンター(市立森野保育園)と本町田地域子育てセンター(市立本町田保育園)を民営化しました。

担当:子ども生活部子育て支援課

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
子ども生活部	お話し会「お・は・な・し・はじまるよ」	ボランティアの方々による、絵本、紙芝居、パネルシアター、手遊び等のお話し会を実施しました。 ○子どもと本の世界を結ぶ ○親子の楽しい時間の共有 ○図書館の紹介 ○子育て中の親を地域でサポートを「活動目標」として活動（全17回実施）	就学前児童とその保護者	子どもセンターばあん	児童青少年課 子どもセンターばあん

■重点目標2 一人ひとりに情報が確実に届く

【重点目標の解説】

子どもと子育て中の親が、必要とする時に必要な情報を得ることができるようにします。

◆Ⅲ-2-個別目標1 子どもと親への情報を確保する

【個別目標の解説】

子どもと子育て中の親が必要とする時に必要な情報を得ることができるようにします。

【指標】

指標名	単位	2011年度実績値	2012年度実績値	2013年度実績値	指標数値出典(所管課)	備考
子育てひろばカレンダーの配布箇所数	箇所	153	155	158	子ども生活部 子育て支援課	—

町田市公式ホームページ・キッズページ

町田市の面積、人口、歴史、市役所の仕事、遊び場・学び場、イベント情報、相談コーナーを紹介する子ども向けのホームページです（URLは下記）。

<http://www.city.machida.tokyo.jp/kids/index.html>

担当：子ども生活部子ども総務課

みんなのおでかけマップ

町田市の補助を受けてNPO法人が運営しているホームページ「町田市バリアフリーマップ」の情報のうち「みんなのトイレ」が整備された施設を紹介した冊子です。「みんなのトイレ」の他に授乳室、車いす対応駐車場等についても記載しているほか、市内すべての駅周辺について、地図情報も表示しています。

【用語解説：みんなのトイレ】

車いす使用者をはじめ、障がい者・高齢者・乳幼児を連れた方等のみんなが利用できる大きさ・機能・設備等のあるトイレです（施設により介助が必要な場合があります）。

町田市バリアフリーマップ <http://www.barrierfree-machida.com/>

担当：地域福祉部福祉総務課

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
市民部	ママ向けお天気教室「さいえんすママカフェ」	子ども同伴で参加できる事業を開催することで、子育て中の母親に消費生活センターの周知を行いました。また、内容的には、「天気」という身近な現象を通じて自然科学に親しんでいただき、合理的思考を身に付ける一助としていただくことが期待されます。	主に就学前児童の母親	町田市民フォーラム	市民協働推進課 消費生活センター
環境資源部	ごみナクナーレ発行	子どもからお年寄りまで幅広い世代に、ごみの減量と資源化を楽しみながら取り組んでもらえるように、ごみに関する情報をわかりやすく伝えていくものとして、発行しました。	小学生～大人	折り込み配布ほか学校、配布拠点など	3R推進課推進係

■重点目標3 みんなで安全・安心のまちをつくる

【重点目標の解説】

子どもと親が地域や家庭で安心して日常生活を送ることができるようにします。

【指標】

指標名	単位	2011年度実績値	2012年度実績値	2013年度実績値	指標数値出典(所管課)	備考
今住んでいる地域が、子どもが安全で健やかに育つ環境になっていると思う市民の割合	%	50.0	39.3	45.5	市民意識調査(政策経営部企画政策課)	10段階評価の評価7以上の割合。評価10が最高得点。数値が大きいほど評価が高い。

◆Ⅲ-3-個別目標1 子どもの安全・安心を確保する

【個別目標の解説】

子どもが地域や家庭で事故や事件に遭う心配をすることなく日常の生活を送ることができるようにします。

【指標】

指標名	単位	2011年度実績値	2012年度実績値	2013年度実績値	指標数値出典(所管課)	備考
「子ども110番の家」の箇所数	箇所	6,067	6,085	6,139	子ども生活部 児童青少年課	—

子ども110番の家

子どもが危険に直面した際に緊急避難先として駆け込むことができる建物であることを示す看板の設置を各小学校PTAや自治会・町内会とともに進めました。

担当:子ども生活部児童青少年課

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

部名	事業名	事業の概要	対象	実施場所	所管課・係
市民部	「子どもが自分自身を守る方法～CAPプログラムを体験しよう～」	子どもの権利と危険な場面から身を守る方法を学ぶ講座です。子どもワークショップと、大人が子どもを支援するための方法を学ぶ大人ワークショップを実施しました。	小学1年生～3年生とその保護者	市民フォーラム	市民協働推進課 男女平等推進センター
建設部	自転車運転教室	各小学校・団体等からの申し込みを受け、町田警察署、南大沢警察署とともに、自転車運転教室を開催しました。講話・実技講習・筆記試験を受けた3年生以上の子どもたちに「町田市自転車運転免許証」を交付しました。	小学生とその保護者	小学校	交通安全課
	中学生体験型交通安全講習	プロのスタントマンが実際にあった交通事故を目の前で再現する体験型の交通安全講習です。事故の状況を直視することで恐怖を体験し、加害者・被害者の気持ちを考える取り組みとして、町田警察署・南大沢警察署との共催により中学生を対象に実施しました。	中学生とその保護者	中学校	交通安全課
	新入学児童交通安全啓発活動	小学1年生を対象に交通安全に関する啓発用品を配布し、通学時等の交通事故防止を呼びかけました。	小学生	—	交通安全課
学校教育部	セーフティ教室	小学校、中学校において、児童・生徒の健全育成の活性化および充実を図るとともに、保護者・市民の参加のもとに、家庭・学校・地域社会の連携による非行・犯罪被害防止教育を推進しました。	小学校、中学校 全児童・生徒および保護者・地域の住民	・小学校 ・中学校	指導課

◆Ⅲ-3-個別目標2 子育てしやすいまちづくりをする

【個別目標の解説】

- ① 乳幼児を連れた親がまちの中を容易に移動できるようにします。
- ② 乳幼児を連れた親が外出先で子どもの世話を容易にできるようにします。
- ③ 乳幼児を持つ親が必要なときに子どもを預けて外出することができるようにします。

【指標】

指標名	単位	2011年度 実績値	2012年度 実績値	2013年度 実績値	指標数値出典 (所管課)	備考
「赤ちゃん・ふらっと」設置数	箇所	7	8	11	子ども生活部 子ども総務課	—

5. 特定 12 事業における実績と目標事業量

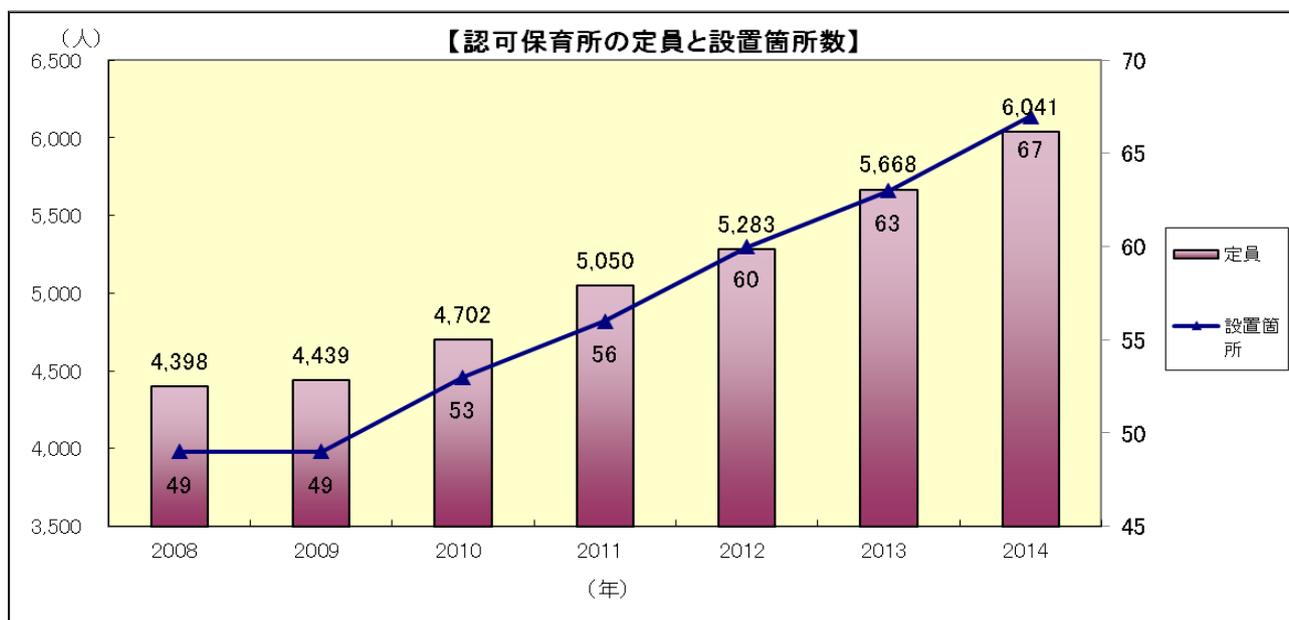
1. 通常保育事業

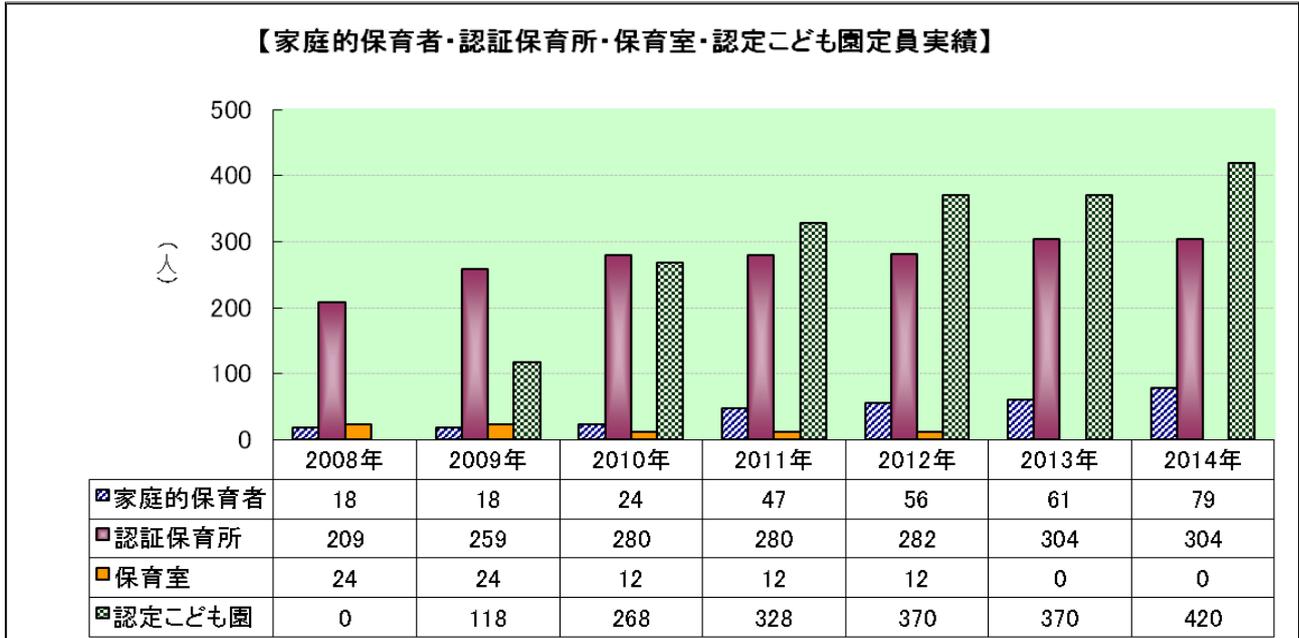
通常保育事業とは、認可保育所（国が定めた設置基準をクリアし、都道府県に認可された施設）および家庭的保育者（区市町村が認定した家庭的保育者の自宅で保育する制度）、認証保育所（東京都独自の基準で設置した施設）、保育室（東京都が定めた小規模な認可外保育施設）、認定こども園（幼稚園等が教育と保育の両方の機能を提供する施設）を合わせた保育サービスのことで

(1) 実績（各年 4 月 1 日現在）

年 度	認可保育所		家庭的保育者		認証保育所		保育室		* 認定こども園	
	定員	箇所数	定員	箇所数	定員	箇所数	定員	箇所数	定員	箇所数
2008	4,398	49	18	4	209	7	24	2	0	0
2009	4,439	49	18	4	259	7	24	2	118 (28)	1
2010	4,702	53	24	6	280	7	12	1	268 (28)	5
2011	5,050	56	47	11	280	7	12	1	328 (28)	7
2012	5,283	60	56	12	282	7	12	1	370 (40)	7
2013	5,668	63	61	13	304	7	0	0	370 (40)	7
2014	6,041	67	79	17	304	7	0	0	420 (0)	9

* 認定こども園の（28）、（40）の数字は認可外保育部分の定員となっています。



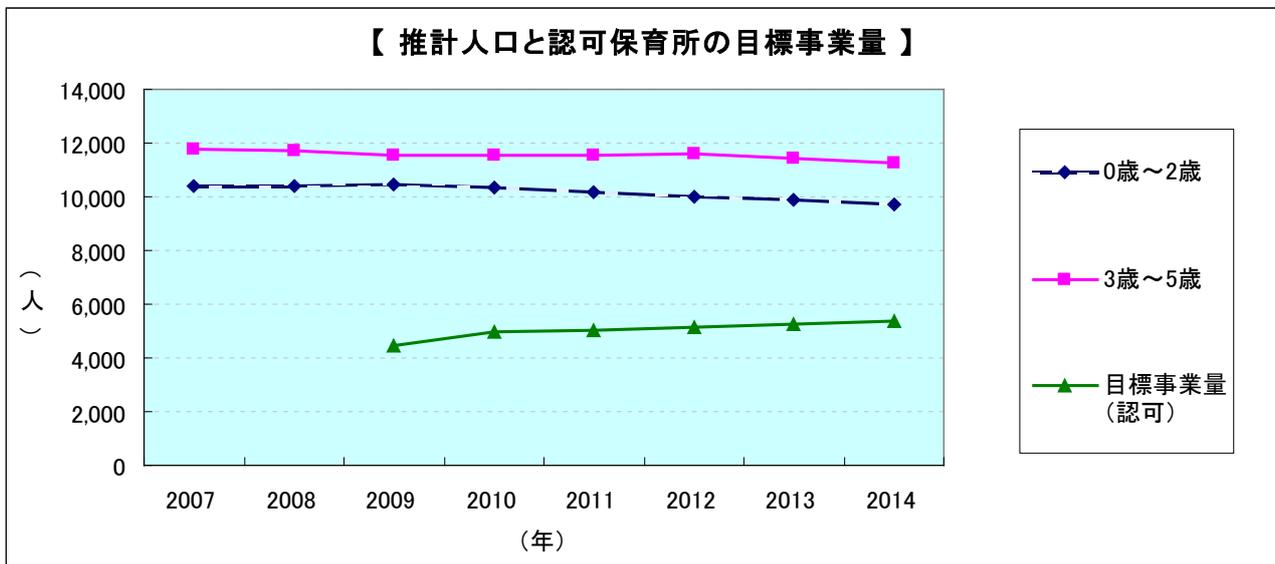


(2) 目標事業量

利用実績等を参考に、以下のとおり目標事業量を設定しました。

	認可保育所		家庭的保育者		認証保育所		保育室	
	人数	箇所数	人数	箇所数	人数	箇所数	人数	箇所数
2014年 4月1日 現在の定員	6,041人	67箇所	79人	17箇所	304人	7箇所		
2014年度 目標事業量	5,578人	60箇所	92人	20箇所	269人	7箇所		

* 保育室は 2013 年度から、家庭的保育者に事業を移行しました。



2. 延長保育事業

延長保育事業とは、基本となる 11 時間（概ね 7 時から 18 時）保育の前後の時間を延長して行う保育のことです。町田市では、63 箇所（2014 年 3 月末現在）の認可保育所で延長保育事業（18 時以降の保育）を行っています。

（1）実績

年度	年間のべ利用人数	実施園
2008	147,107 人	49 園
2009	141,346 人	49 園
2010	136,467 人	55 園
2011	163,162 人	56 園
2012	154,112 人	60 園
2013	171,756 人	63 園



延長保育時間	2014 年 4 月 1 日 現在の実施園 (67 園)
1 時間延長 (19 時まで) 実施園	27 園
2 時間延長 (20 時まで) 実施園	37 園
3 時間延長 (21 時まで) 実施園	1 園
4 時間延長 (22 時まで) 実施園	1 園

（2）延長・夜間・トワイライトステイ事業の推計ニーズ量（アンケートによる希望数値）

	18 時～20 時未満	20 時～22 時未満	22 時～翌朝 5 時
2014 年度推計ニーズ量	6,128 人	1,427 人	171 人

<説明>

延長保育事業・夜間保育事業・トワイライトステイ事業の推計ニーズ量は、18 時以降を 3 つの時間帯（18 時～20 時未満、20 時～22 時未満、22 時～翌朝 5 時まで）で区切り、国が示した項目により、利用希望を調査しました。希望数値の中には、現在このサービスを使っていない人と現在すでに利用し、時間延長を希望する人の数も含まれます。

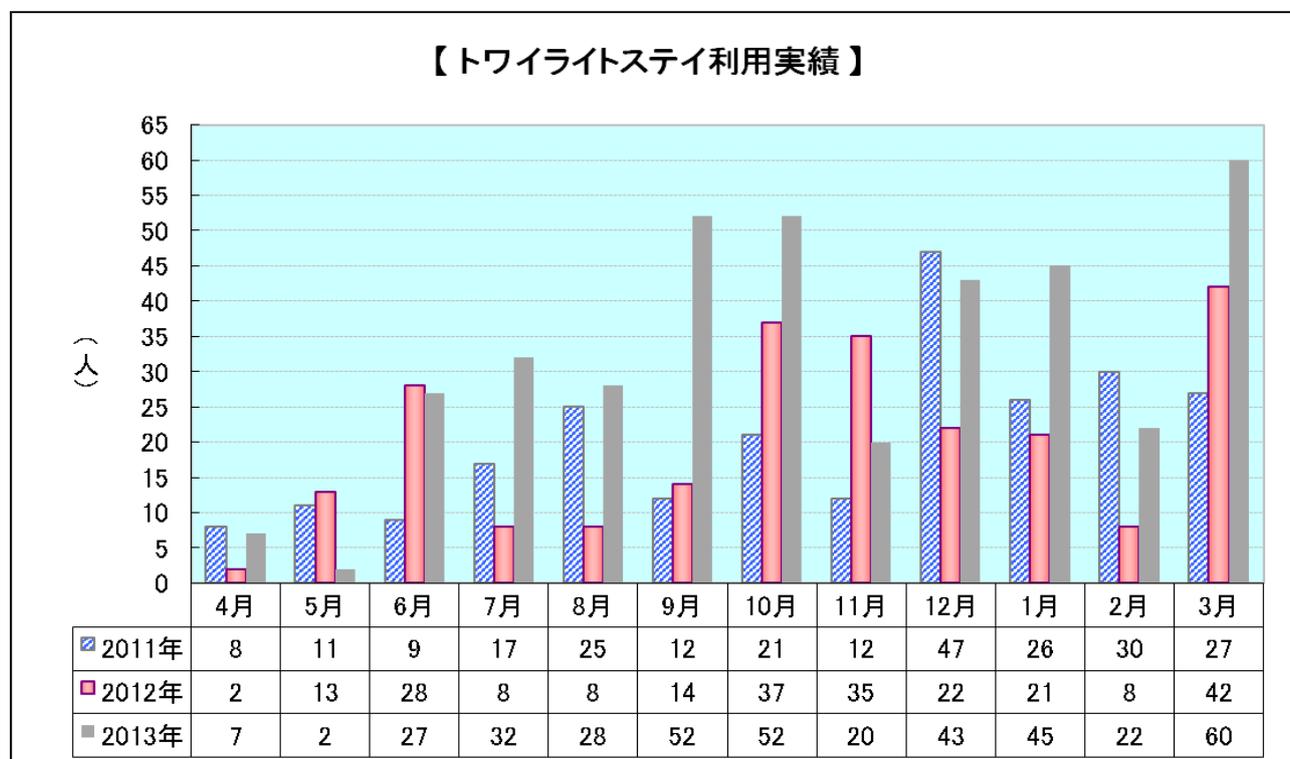
3. 夜間保育事業

夜間保育事業とは、児童福祉法に基づく設置認可を受けた保育所が 22 時頃までの保育を行うことです。町田市では現在、夜間保育事業は行っていませんが、市立町田保育園が 22 時までの延長保育を実施しています。

4. トワイライトステイ事業

トワイライトステイ事業は、保護者の方が仕事や家族の介護等で帰宅が夜間におよぶ際に、子どもを 22 時までお預かりする保育サービスです。町田市では、ショートステイの家「マルガリータ」で行っています。

(1) 実績



(2) 目標事業量

	定員	箇所数	2008年～2013年 利用実績
2014年4月1日現在の 定員	5人	1箇所	1日平均 0.6人 (月30日として計算)
2014年度目標事業量	5人	1箇所	

* 目標事業量は国の指定により、定員で算出することとなっています。
実績を考慮し、設定しています。

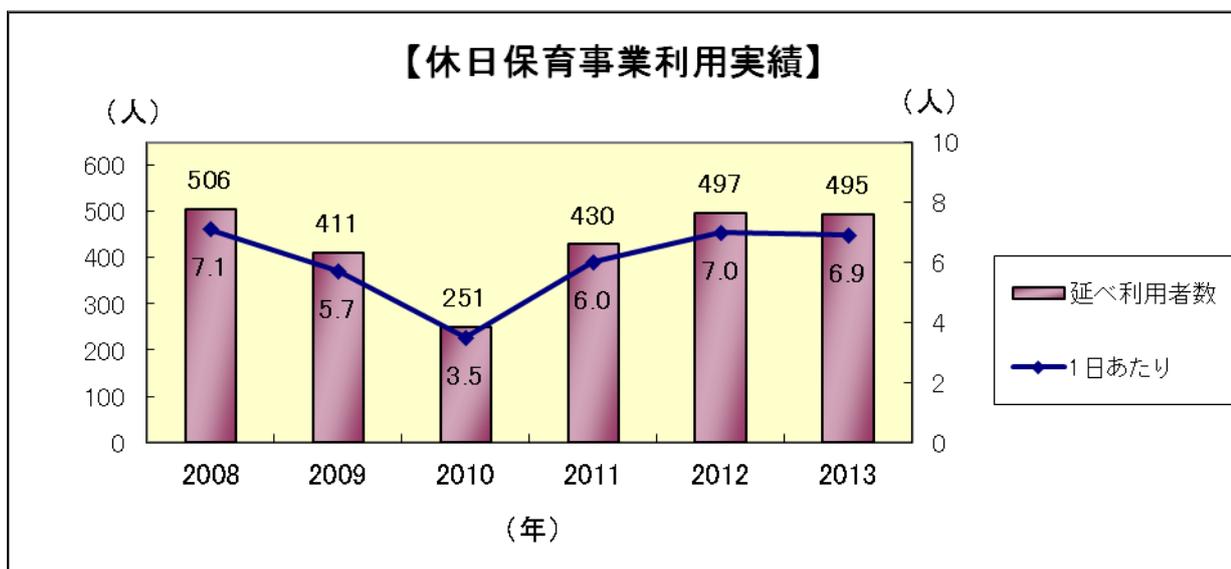
5. 休日保育事業

休日や祝日に仕事・看護・冠婚葬祭等の理由で家庭保育ができないときに、子どもをお預かりする保育サービスです（年末・年始は除きます）。町田市では、わかば保育園で行っています。

(1) 実績

年度	施設数	年間のべ 利用者数	休日1日 平均利用者数	1日あたり 利用可能人数
2008	1箇所	506人	7.1人	20人
2009	1箇所	411人	5.7人	20人
2010	1箇所	251人	3.5人	20人
2011	1箇所	430人	6.0人	20人
2012	1箇所	497人	7.0人	20人
2013	1箇所	495人	6.9人	20人

*年間の休日を71日として算出



(2) 目標事業量

	定員	箇所数	2008年～2013年 利用実績
2014年4月1日現在の定員	20人	1箇所	
2014年度目標事業量	20人	1箇所	
			1日平均 6.3人

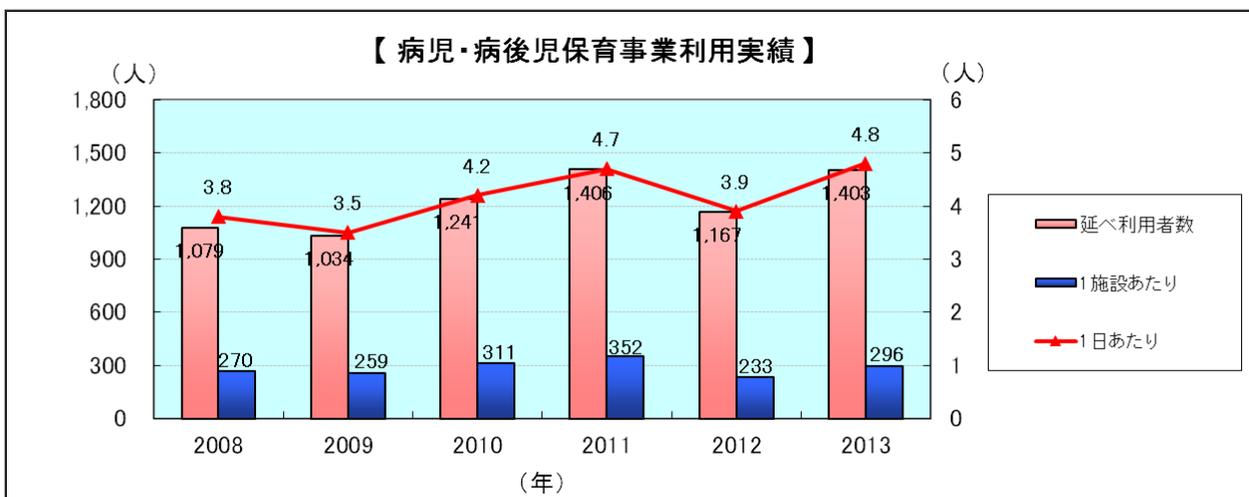
* 目標事業量は実績を考慮し、設定しています。

6. 病児・病後児保育事業

病児・病後児保育事業とは、病中または病気の回復期の子どもを、保育所・医療機関等に付随して設けられた専用スペース等でお預かりする保育サービスです。町田市では、病児保育は「はやしクリニック病児保育室」で、病後児保育は「小野路保育園第一分園病後児保育室つくし組」、「ききょう保育園病後児保育室ひまわり」、「高ヶ坂ふたば保育園病後児保育室こすもす」、「かえで保育園病後児保育室れんげ」の病児保育1箇所、病後児保育4箇所の計5箇所で行っています。

(1) 実績

年度	施設数	年間のべ利用者数	1日平均利用者数	利用可能人数
2008	4箇所	1,079人	3.8人	16人
2009	4箇所	1,034人	3.5人	16人
2010	4箇所	1,241人	4.2人	16人
2011	4箇所	1,406人	4.7人	16人
2012	5箇所	1,167人	3.9人	20人
2013	5箇所	1,403人	4.8人	20人



(2) 目標事業量

	利用可能日数	箇所数
2014 年度利用可能日数	5,860 日	5 箇所
2014 年度目標事業量	4,704 日	4 箇所

* 目標事業量は、国の指定により日数で算出しています。利用可能日数 5,860 日は、年間開所日数 293 日×定員 4 名×施設数 5 箇所で、年間の受け入れ可能な合計日数を算出しています。

7. 放課後児童健全育成事業（学童保育クラブ）

放課後児童健全育成事業（学童クラブ）とは、保護者が就労等により、昼間家庭にいないおおむね 10 歳未満の小学生を対象に、授業終了後、組織的に指導を行い、子どもの事故防止と心身の健全な育成を図る事業です。

(1) 実績



各年 4 月 1 日現在

学童保育クラブの登録児童数は年々増加の傾向にあります。町田市では、1 小学校区に 1 学童保育クラブを設置するという目標は達成しました。今後は遠距離学童保育クラブのあり方など、実状に即して検討していきます。

(2) 目標事業量

	定員（児童数）	箇所数
2014 年 4 月 1 日現在の受入定数	3,530 人	43 箇所
2014 年度目標事業量	3,665 人	43 箇所

8. 地域子育て支援拠点事業（子育てひろば）

地域子育て支援拠点事業とは、地域において、親子の交流の促進や子育てに関する相談、情報の提供等を行う子育て支援の拠点を設置・促進する事業です。町田市では、公立保育所（地域子育てセンター）7園、法人立保育所28園、つどいのひろば1箇所（ききょう保育園のあじさい広場）で実施しています。

（1）実績

年度	法人立保育所	公立保育所 （地域子育てセンター）	つどいのひろば	合計
2008	15 園	7 園	2 箇所	24 箇所
2009	18 園	7 園	2 箇所	27 箇所
2010	22 園	7 園	2 箇所	31 箇所
2011	23 園	7 園	2 箇所	32 箇所
2012	25 園	7 園	2 箇所	34 箇所
2013	28 園	7 園	1 箇所	36 箇所

（2）目標事業量

	箇所数
2014年4月1日現在実施箇所	36 箇所
2014年度目標事業量	33 箇所

*目標事業量は実績を考慮し、設定しています。

9. 一時預かり事業

一時預かり事業とは、日中、家庭での保育が一時的に困難になった場合、保育所等で一時的に子どもをお預かりする事業です。町田市では、42 箇所（2014 年 3 月末現在）の保育所で一時預かり事業を行っています。

(1) 実績



(2) 目標事業量

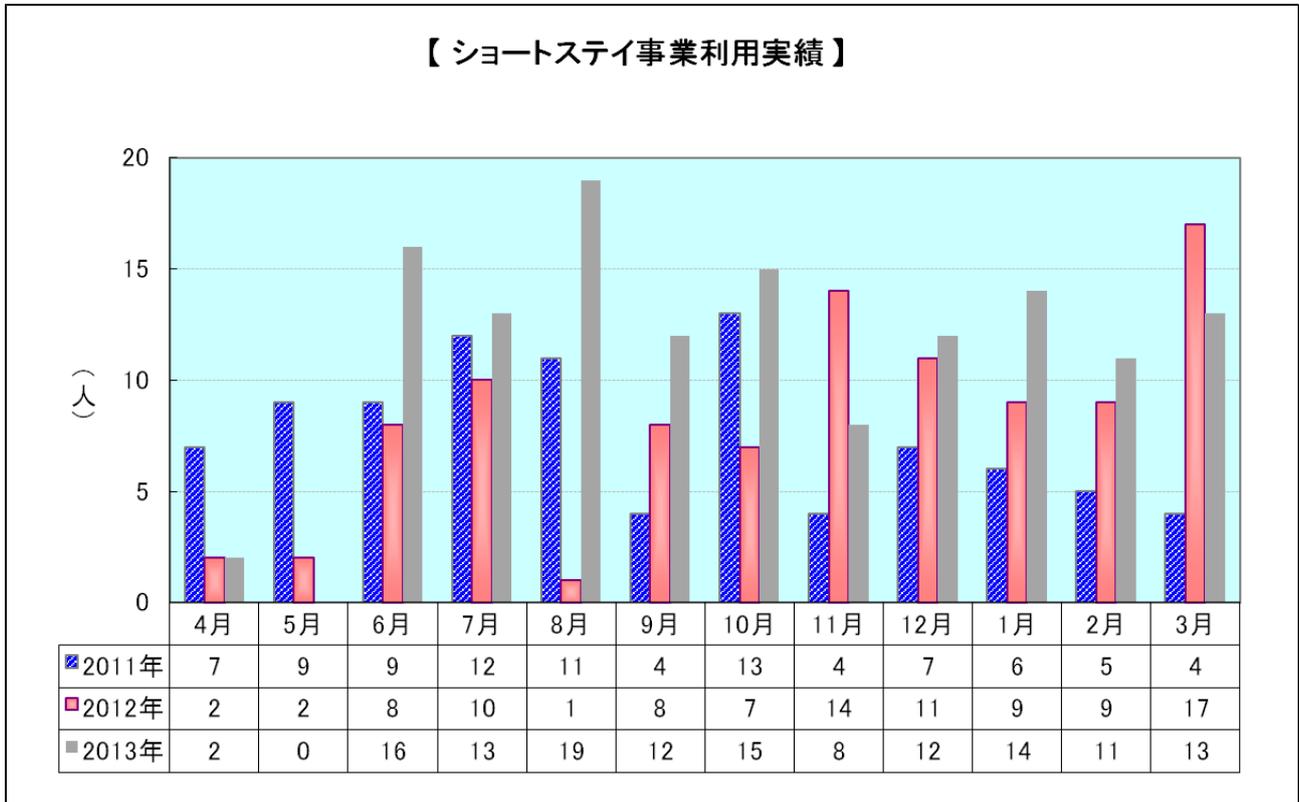
	受け入れ可能日数	箇所数
2014 年 4 月 1 日現在	120,873 日	46 箇所
2014 年度目標事業量	57,330 日	39 箇所

* 目標事業量は実績を考慮し、設定しています。

10. ショートステイ事業

ショートステイ事業とは、保護者の方が病気・冠婚葬祭・事故・出産等で一時的に子どもを保育できない時に、宿泊でお預かりする事業です。町田市では、ショートステイの家「マルガリータ」で行っています。

(1) 実績



(2) 目標事業量

	日数	箇所数	2008年～2013年 利用日数 平均 327 日
2014年4月1日現在	438日	1箇所	
2014年度目標事業量	438日	1箇所	

* 目標事業量は実績を考慮し、設定しています。

<説明>

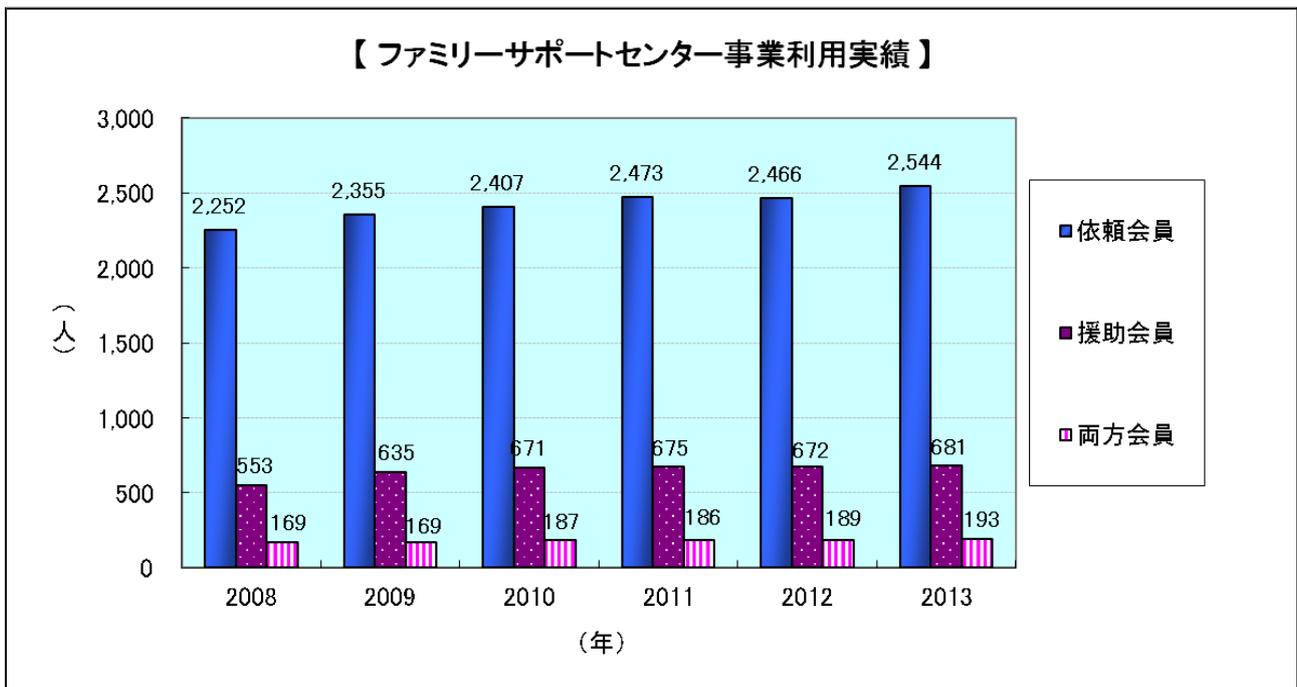
ショートステイの目標事業量は、子ども家庭支援センターが行う、所定の算出方式により得た利用率で算出しています。1泊2日の利用を2日と計算しますので、年間365日より多い数値になります。

11. ファミリー・サポート・センター事業

ファミリー・サポート・センター事業とは、「育児の援助を行う人（提供会員）」と「育児の援助を受ける人（依頼会員）」が会員となり、保育所終了後の時間や外出の際などに、提供会員の自宅で子どもを預かる、有償のボランティア事業です。

(1) 実績

年度	依頼会員	援助会員	両方会員	利用件数
2008	2,252 人	553 人	169 人	16,452 件
2009	2,355 人	635 人	169 人	14,281 件
2010	2,407 人	671 人	187 人	14,790 件
2011	2,473 人	675 人	186 人	12,543 件
2012	2,466 人	672 人	189 人	12,284 件
2013	2,544 人	681 人	193 人	10,315 件



(2) 目標事業量

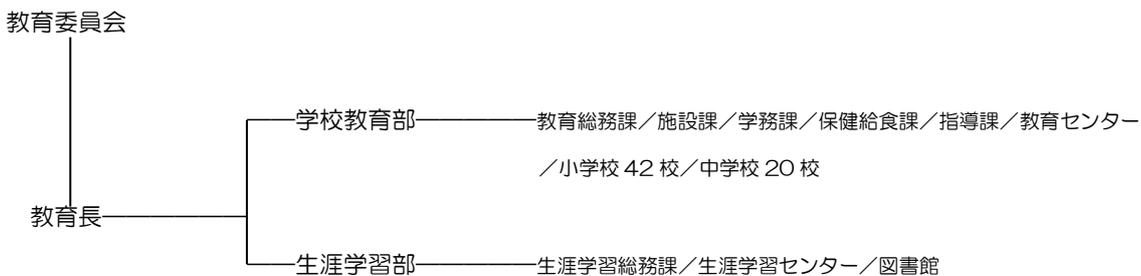
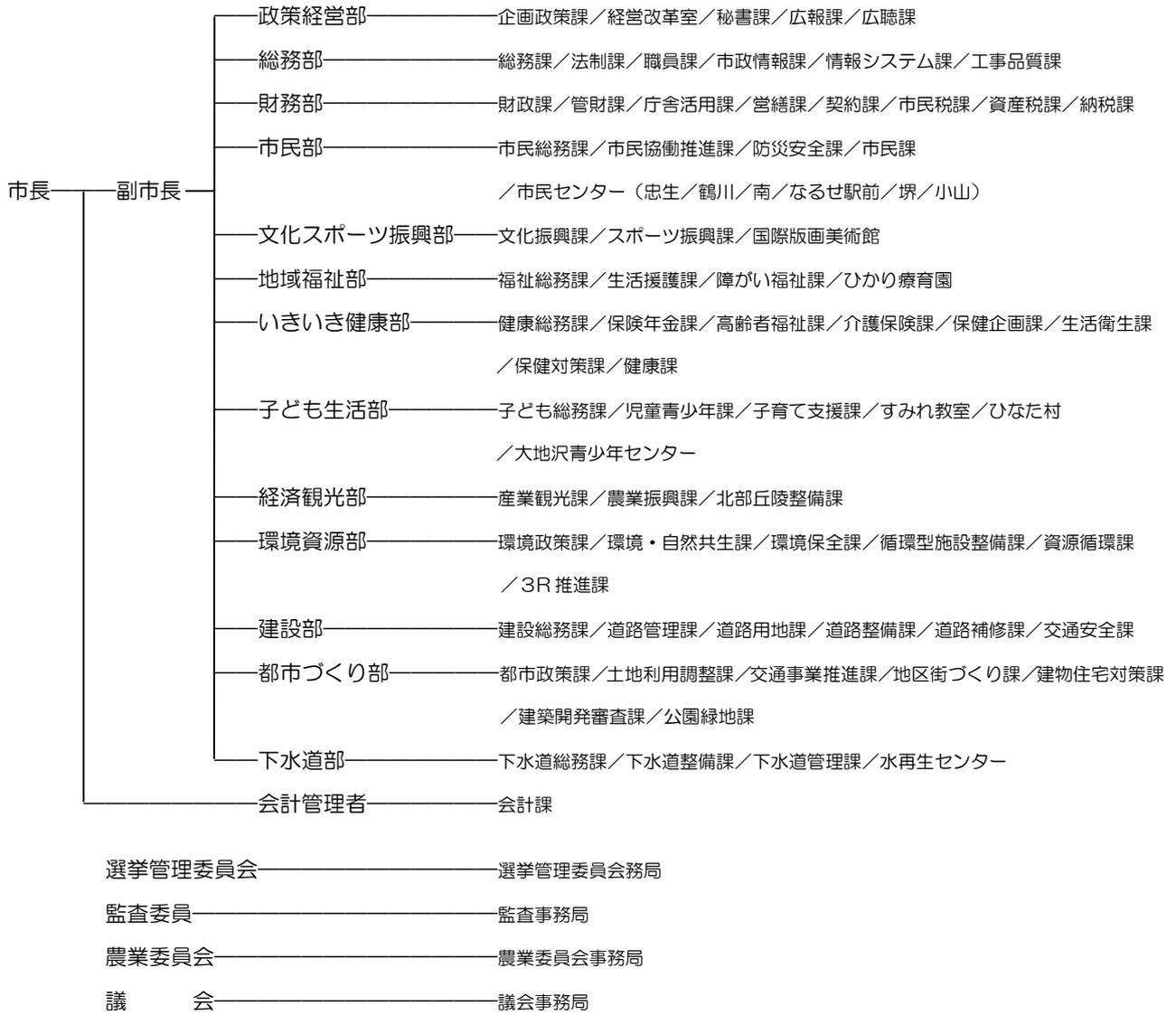
	箇所
2014年4月1日現在	1 箇所
2014年度目標事業量	1 箇所

ファミリー・サポート・センターの依頼会員や援助会員は年々増加の傾向にあります。今後は事業実績の推移を見ながら検討していきます。

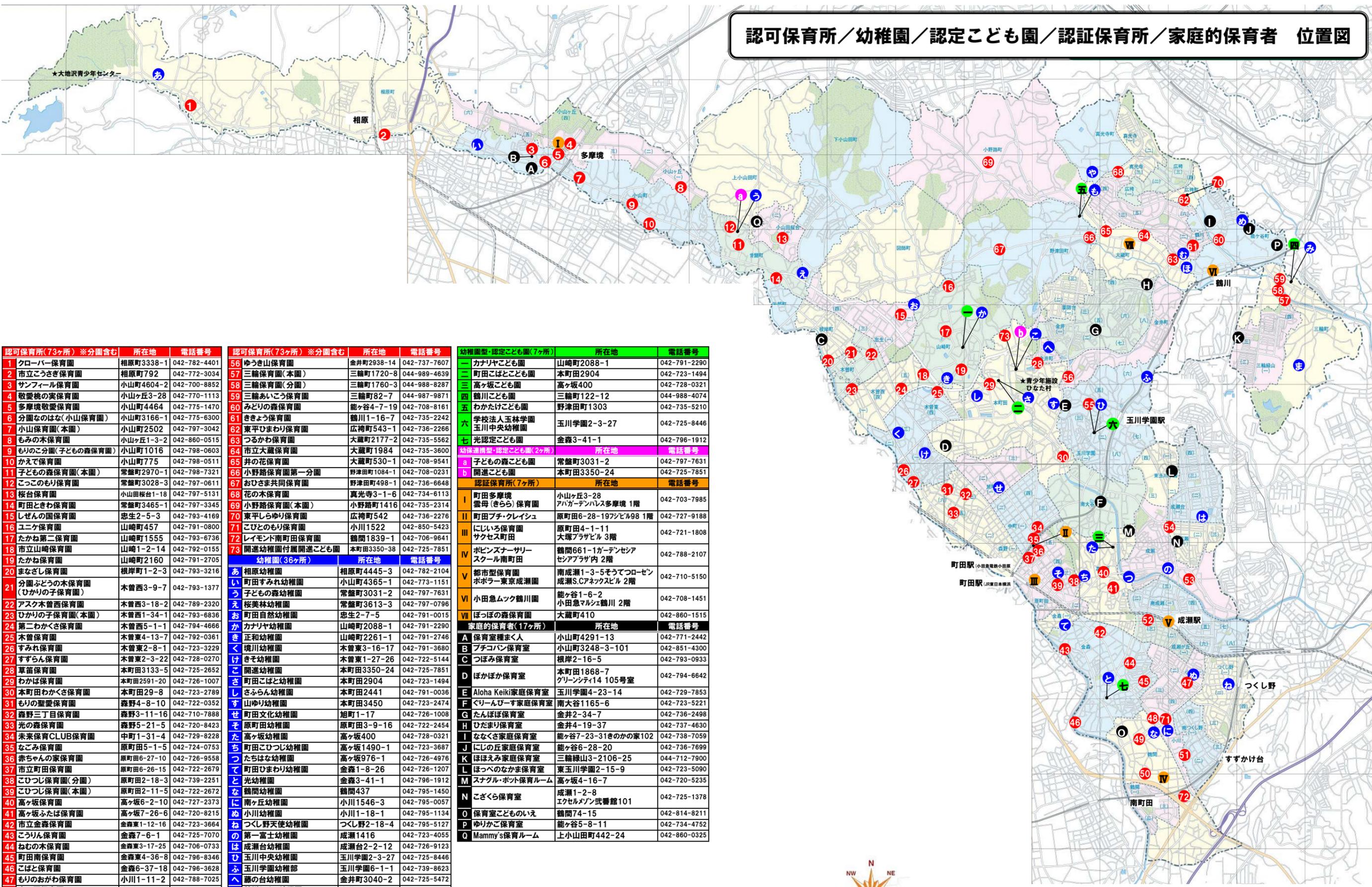
※ 目標事業量は実績を考慮し、設定しています。

6. 町田市の組織

(2014年4月1日現在)



認可保育所／幼稚園／認定こども園／認証保育所／家庭的保育者 位置図



認可保育所(73ヶ所) ※分園含む	所在地	電話番号
1 クローバー保育園	相原町3338-1	042-782-4401
2 市立こさぎ保育園	相原町792	042-772-3034
3 ザンフィール保育園	小山町4604-2	042-700-8852
4 敬愛桃の実保育園	小山ヶ丘3-28	042-770-1113
5 多摩境敬愛保育園	小山町4464	042-775-1470
6 分園なのはな(小山保育園)	小山町3166-1	042-775-6300
7 小山保育園(本園)	小山町2502	042-797-3042
8 もみの木保育園	小山ヶ丘1-3-2	042-860-0515
9 もりのこ分園(子どもの森保育園)	小山町1016	042-798-0603
10 かえて保育園	小山町775	042-798-0511
11 子どもの森保育園(本園)	常盤町2970-1	042-798-7321
12 ここのもり保育園	常盤町3028-3	042-797-0611
13 桜台保育園	小山田桜台1-18	042-797-5131
14 町田ときわ保育園	常盤町3465-1	042-797-3345
15 しぜんの国保育園	忠生2-5-3	042-793-4169
16 ユニク保育園	山崎町457	042-791-0800
17 たかね第二保育園	山崎町1555	042-793-6736
18 市立山崎保育園	山崎1-2-14	042-792-0155
19 たかね保育園	山崎町2160	042-791-2705
20 まなざし保育園	根岸町1-2-3	042-793-3216
21 分園ぶどうの木保育園(ひかりの子保育園)	木曾西3-9-7	042-793-1377
22 アスク木曾西保育園	木曾西3-18-2	042-789-2320
23 ひかりの子保育園(本園)	木曾西1-34-1	042-793-6836
24 第二わかさ保育園	木曾西5-1-1	042-794-4666
25 木曾保育園	木曾東4-13-7	042-792-0361
26 すみれ保育園	木曾東2-8-1	042-723-3229
27 すずらん保育園	木曾東2-3-22	042-728-0270
28 草笛保育園	本町田3133-5	042-725-2652
29 わかば保育園	本町田2591-20	042-726-1007
30 本町田わかさ保育園	本町田29-8	042-723-2789
31 もりの聖愛保育園	森野4-8-10	042-722-0352
32 森野三丁目保育園	森野3-11-16	042-710-7888
33 光の森保育園	森野5-21-5	042-720-8423
34 未来保育CLUB保育園	中町1-31-4	042-729-8228
35 なごみ保育園	原町田5-1-5	042-724-0753
36 赤ちゃんの家保育園	原町田6-27-10	042-726-9558
37 市立町田保育園	原町田6-26-15	042-722-2679
38 こひつじ保育園(分園)	原町田2-18-3	042-739-2251
39 こひつじ保育園(本園)	原町田2-11-5	042-722-2672
40 高ヶ坂保育園	高ヶ坂6-2-10	042-727-2373
41 高ヶ坂ふたば保育園	高ヶ坂7-26-6	042-720-8215
42 市立金森保育園	金森東1-12-16	042-723-3664
43 こうりん保育園	金森7-6-1	042-725-7070
44 ねむの木保育園	金森東3-17-25	042-706-0733
45 町田南保育園	金森東4-36-8	042-796-8346
46 こはと保育園	金森6-37-18	042-796-3628
47 もりのおがわ保育園	小川1-11-2	042-788-7025
48 光の原保育園	小川1274-2	042-788-5381
49 田園保育園	鶴間411-4	042-795-1081
50 ハッピードリーム鶴間保育園	鶴間579-3	042-796-3322
51 南つくし野保育園	南つくし野2-17-1	042-788-5228
52 成瀬南野保育園	成瀬が丘3-22-1	042-795-2101
53 町田わかさ保育園	成瀬7-10-7	042-728-0288
54 成瀬くりの家保育園	成瀬1-5-1	042-710-8177
55 玉川さくら保育園	玉川学園3-35-48	042-725-2166

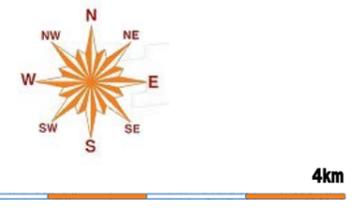
認可保育所(73ヶ所) ※分園含む	所在地	電話番号
56 ゆうき山保育園	金井町2938-14	042-737-7607
57 三輪保育園(本園)	三輪町1720-8	044-989-4639
58 三輪保育園(分園)	三輪町1760-3	044-988-8287
59 三輪あいごう保育園	三輪町82-7	044-987-9871
60 みどりの森保育園	能ヶ谷4-7-19	042-708-8161
61 ききょう保育園	鶴川1-16-7	042-735-2242
62 東平ひまわり保育園	広袴町543-1	042-736-2266
63 つるかわ保育園	大蔵町2177-2	042-735-5562
64 市立大蔵保育園	大蔵町1984	042-735-3600
65 井の花保育園	大蔵町530-1	042-708-9541
66 小野路保育園第一分園	野津田町1084-1	042-708-0231
67 おひさま共同保育園	野津田町498-1	042-736-6648
68 花の木保育園	真光寺3-1-6	042-734-6113
69 小野路保育園(本園)	小野路町1416	042-735-2314
70 東平しらゆり保育園	広袴町542	042-736-2276
71 こひとのもり保育園	小川11522	042-850-5423
72 レイモンド南町田保育園	鶴間1839-1	042-706-9641
73 開進幼稚園付属開進こども園	本町田3350-38	042-725-7851

幼稚園型・認定こども園(7ヶ所)	所在地	電話番号
一 カナリヤこども園	山崎町2088-1	042-791-2290
二 町田こぼとこども園	本町田2904	042-723-1494
三 高ヶ坂こども園	高ヶ坂400	042-728-0321
四 鶴川こども園	三輪町122-12	044-988-4074
五 わかたけこども園	野津田町1303	042-735-5210
六 学校法人玉林学園 玉川中央幼稚園	玉川学園2-3-27	042-725-8446
七 光認定こども園	金森3-41-1	042-796-1912

幼保連携型・認定こども園(2ヶ所)	所在地	電話番号
八 子どもの森こども園	常盤町3031-2	042-797-7631
九 開進こども園	本町田3350-24	042-725-7851

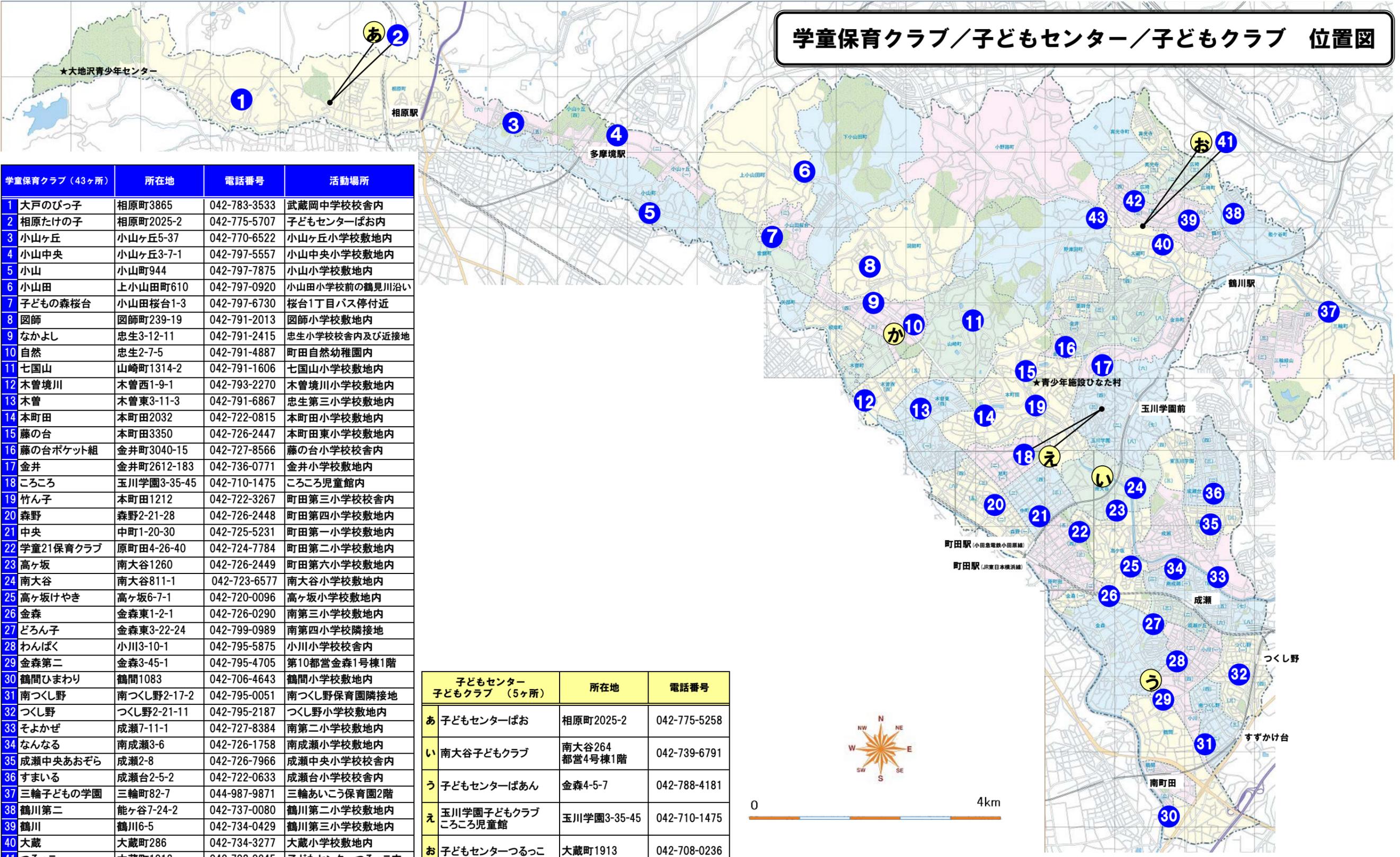
認証保育所(7ヶ所)	所在地	電話番号
I 町田多摩境 雲母(きらら)保育園	小山ヶ丘3-28 アハガデンハルス多摩境 1階	042-703-7985
II 町田プチクレイシュ	原町田6-28-197ビル98 1階	042-727-9188
III にじいろ保育園 サクセス町田	原町田4-1-11 大塚アザビル 3階	042-721-1808
IV ポピズナーサリー スクール南町田	鶴間661-11ガーデンセア セシアラザ内 2階	042-788-2107
V 都市型保育園 ホボラ-東京成瀬園	南成瀬1-3-5そうてつローゼン 成瀬S.Cアネックスビル 2階	042-710-5150
VI 小田急ムック鶴川園	小田急1-6-2 小田急マルシェ鶴川 2階	042-708-1451
VII ぼっぼの森保育園	大蔵町410	042-860-1515

家庭的保育者(17ヶ所)	所在地	電話番号
A 保育室種まく人	小山町4291-13	042-771-2442
B プチコバン保育室	小山町3248-3-101	042-851-4300
C つぼみ保育室	根岸2-16-5	042-793-0933
D ほかほか保育室	本町田1868-7 グリーンシティ14 105号室	042-794-6642
E Aloha Keiki家庭保育室	玉川学園4-23-14	042-729-7853
F ぐりーんびーす家庭保育室	南大谷1165-6	042-723-5221
G たんぽぽ保育室	金井2-34-7	042-736-2498
H ひだまり保育室	金井4-19-37	042-737-4630
I になくさ家庭保育室	能ヶ谷7-23-31きのこの家102	042-738-7059
J にじの丘家庭保育室	能ヶ谷6-28-20	042-736-7699
K ほほえみ家庭保育室	三輪山3-2106-25	044-712-7900
L ほつべのなま保育室	東玉川学園2-15-9	042-723-5090
M スナグル・ポット保育ルーム	高ヶ坂4-16-7	042-720-5235
N こざくら保育室	成瀬1-2-8 エクセルメゾン武香館101	042-725-1378
O 保育室こどものいえ	鶴間74-15	042-814-8211
P ゆりかご保育室	能ヶ谷5-8-11	042-734-4752
Q Mummy's保育ルーム	上小山町442-24	042-860-0325



<2014年7月 現在>

学童保育クラブ/子どもセンター/子どもクラブ 位置図



学童保育クラブ (43ヶ所)	所在地	電話番号	活動場所
1 大戸のびっ子	相原町3865	042-783-3533	武蔵岡中学校校舎内
2 相原たけの子	相原町2025-2	042-775-5707	子どもセンターばお内
3 小山ヶ丘	小山ヶ丘5-37	042-770-6522	小山ヶ丘小学校敷地内
4 小山中央	小山ヶ丘3-7-1	042-797-5557	小山中央小学校敷地内
5 小山	小山町944	042-797-7875	小山小学校敷地内
6 小山田	上小山田町610	042-797-0920	小山田小学校前の鶴見川沿い
7 子どもの森桜台	小山田桜台1-3	042-797-6730	桜台1丁目バス停付近
8 函師	函師町239-19	042-791-2013	函師小学校敷地内
9 なかよし	忠生3-12-11	042-791-2415	忠生小学校校舎内及び近接地
10 自然	忠生2-7-5	042-791-4887	町田自然幼稚園内
11 七国山	山崎町1314-2	042-791-1606	七国山小学校敷地内
12 木曾境川	木曾西1-9-1	042-793-2270	木曾境川小学校敷地内
13 木曾	木曾東3-11-3	042-791-6867	忠生第三小学校敷地内
14 本町田	本町田2032	042-722-0815	本町田小学校敷地内
15 藤の台	本町田3350	042-726-2447	本町田東小学校敷地内
16 藤の台ポケット組	金井町3040-15	042-727-8566	藤の台小学校校舎内
17 金井	金井町2612-183	042-736-0771	金井小学校敷地内
18 ころころ	玉川学園3-35-45	042-710-1475	ころころ児童館内
19 竹ん子	本町田1212	042-722-3267	町田第三小学校校舎内
20 森野	森野2-21-28	042-726-2448	町田第四小学校敷地内
21 中央	中町1-20-30	042-725-5231	町田第一小学校敷地内
22 学童21保育クラブ	原町田4-26-40	042-724-7784	町田第二小学校敷地内
23 高ヶ坂	南大谷1260	042-726-2449	町田第六小学校敷地内
24 南大谷	南大谷811-1	042-723-6577	南大谷小学校敷地内
25 高ヶ坂けやき	高ヶ坂6-7-1	042-720-0096	高ヶ坂小学校敷地内
26 金森	金森東1-2-1	042-726-0290	南第三小学校敷地内
27 どろん子	金森東3-22-24	042-799-0989	南第四小学校隣接地
28 わんぱく	小川3-10-1	042-795-5875	小川小学校校舎内
29 金森第二	金森3-45-1	042-795-4705	第10都営金森1号棟1階
30 鶴間ひまわり	鶴間1083	042-706-4643	鶴間小学校敷地内
31 南つくし野	南つくし野2-17-2	042-795-0051	南つくし野保育園隣接地
32 つくし野	つくし野2-21-11	042-795-2187	つくし野小学校敷地内
33 そよかぜ	成瀬7-11-1	042-727-8384	南第二小学校敷地内
34 なんなる	南成瀬3-6	042-726-1758	南成瀬小学校敷地内
35 成瀬中央あおぞら	成瀬2-8	042-726-7966	成瀬中央小学校校舎内
36 すまいる	成瀬台2-5-2	042-722-0633	成瀬台小学校校舎内
37 三輪子どもの学園	三輪町82-7	044-987-9871	三輪あいこう保育園2階
38 鶴川第二	能ヶ谷7-24-2	042-737-0080	鶴川第二小学校敷地内
39 鶴川	鶴川6-5	042-734-0429	鶴川第三小学校敷地内
40 大蔵	大蔵町286	042-734-3277	大蔵小学校敷地内
41 つるっこ	大蔵町1913	042-708-0245	子どもセンターつるっこ内
42 鶴川第四	鶴川3-22	042-734-3845	鶴川第四小学校敷地内
43 野津田	野津田町1290	042-735-4568	鶴川第一小学校敷地内

子どもセンター 子どもクラブ (5ヶ所)	所在地	電話番号
あ 子どもセンターばお	相原町2025-2	042-775-5258
い 南大谷子どもクラブ	南大谷264 都営4号棟1階	042-739-6791
う 子どもセンターばあん	金森4-5-7	042-788-4181
え 玉川学園子どもクラブ ころころ児童館	玉川学園3-35-45	042-710-1475
お 子どもセンターつるっこ	大蔵町1913	042-708-0236
か 子どもセンターただON	忠生1-11-1	042-794-6722

<平成26年7月21日 現在>
 ※高ヶ坂・成瀬地区整理事業に伴い、2014年7月21日より住居表示が変更となりました。

本書に対するご意見等ございましたら、下記の子ども総務課
までお寄せください。

まちだの子ども施策 2013（平成25）年度

発行年月	2014年11月
発行	町田市 〒194-8520 町田市森野2-2-22 TEL 042-722-3111（代表）
編集	子ども生活部子ども総務課 TEL 042-724-2876（直通）
刊行物番号	14 - 54
印刷	庁内印刷

